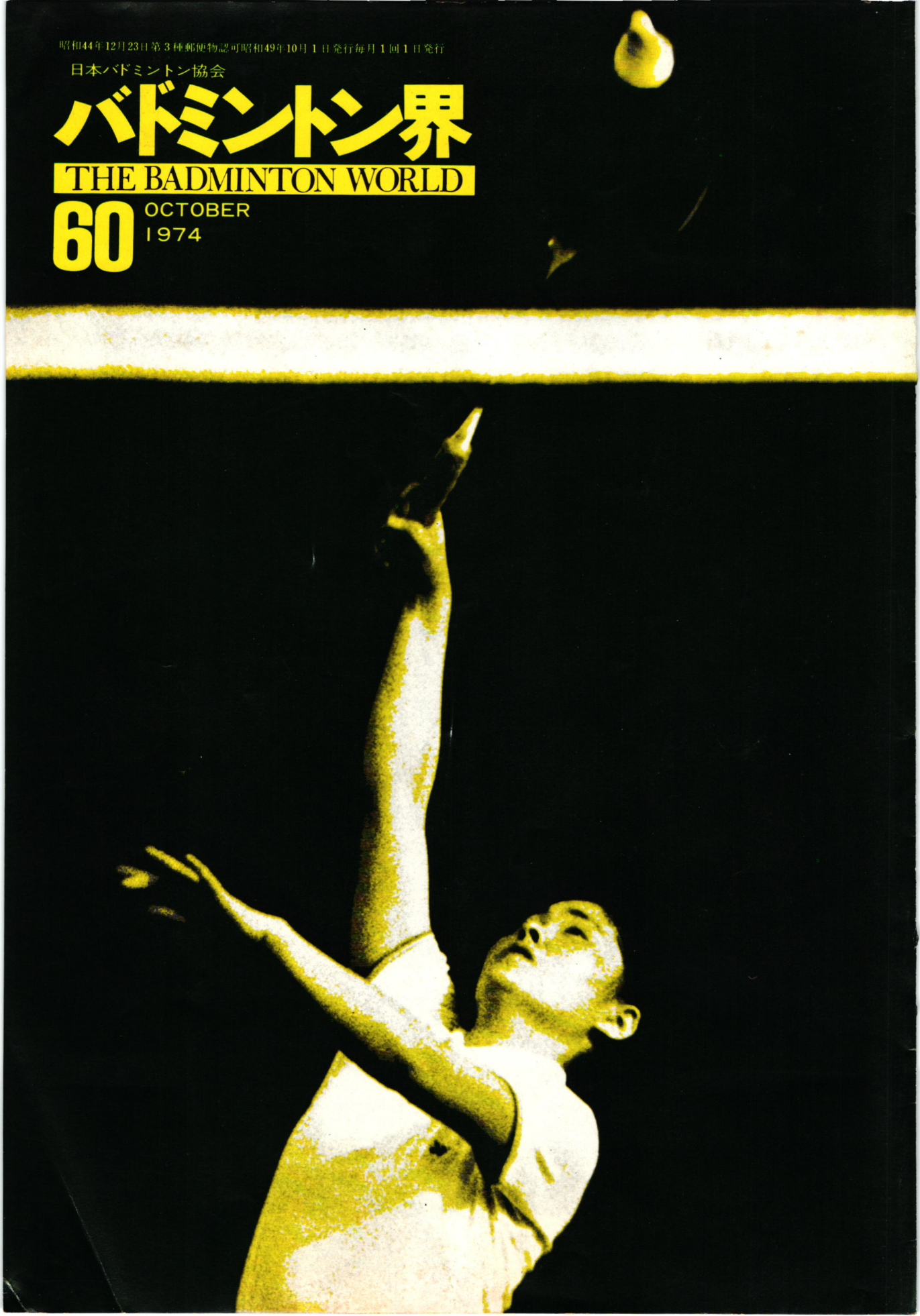
昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和49年10月1日発行毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

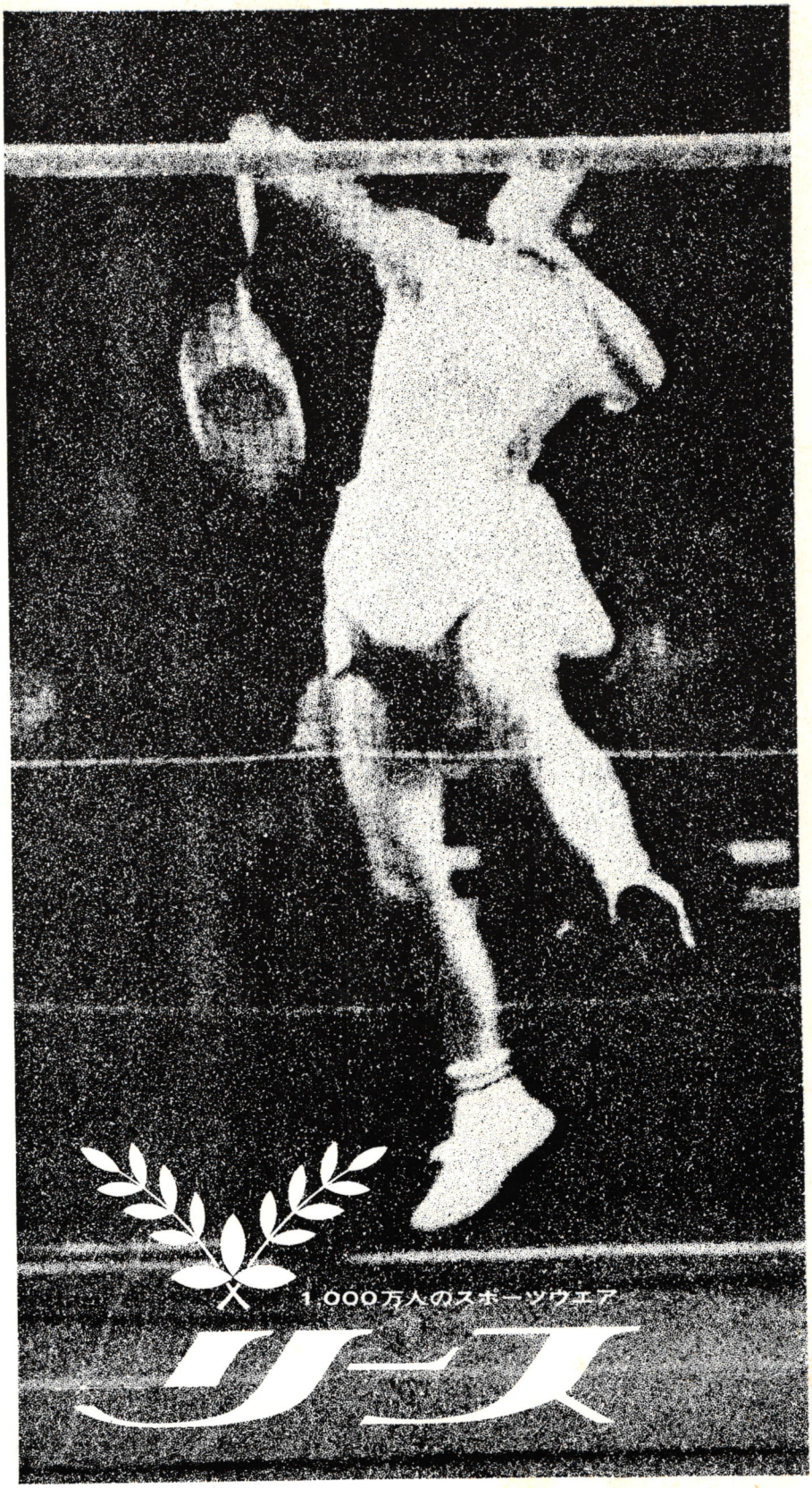
バドミントン界

THE BADMINTON WORLD

60 OCTOBER 1974



この一瞬!!



あなたはひかる――はげしい動き、ふき出す汗、すべての条件を
プレイヤー本位に満たすカワサキの〝リース〟はあなたのウエアです。

K TOKYO
河崎ラケット工業株式会社
東京都台東区台東2-28-5 電話(831)-884・0453

THE BADMINTON WORLD・OCTOBER 1974
バドミントン界 10月号・NO・60

表紙撮影・山田真市　同制作・小浜正道

■アジア大会詳報
中国チーム大活躍―日本は
湯木の三位がせいいっぱい　2
■全日本社会人選手権大会
今泉が初優勝―女子は
湯木が順当勝ち　4
■第一回愛知県家庭婦人大会
お母さん、がんばれッ!!―名古屋で
ママさん大会盛大に開催さる　8
アジア大会写真集　12
全日本社会人大会写真集　18
■体当り実戦教室（小島一平）第八回
ダブルスの実戦的アドバイス　22
■私の歩んできた道（中山紀子）第六回
栄光の全英選手権優勝　24
■目で見る技術講座
フレミング・デルフスのスマッシュ　27
リーン・コーペンのラウンド・
ザ・ヘッド・ストローク　28
チュンチュンのハイクリアー　29
■ビギナーへの手紙（羽戸民敦）第五回
ある練習日誌から　30
■第一回京都家庭婦人オープン大会
なごやかに開催　34
マスコミのとらえたバドミントン　36
読者と編集者　38
協会通信　38
全日本社会人選手権大会
スコア詳報　39
編集室から　40

アジア大会

5種目で金メダル

日本は湯木の三位がせいいっぱい

イランの首府テヘランで開催されたアジア大会において、日本チームは意外な成績であったが、個人戦の結果をお知らせし、全体の経過をふりかえって今後を考えてみたい。

◆男子団体戦決勝

中国 3（単3－0 複0－2）2 インドネシア

○侯加昌 2（15－7 15－3）0 ヌヌン

○湯仙虎 2（15－7 15－4）0 リエム

侯加昌 庚耀東 1（4－15 13－15 15－12）2 ヨハン チュン○ チュン

湯仙虎 陳天祥 1（16－17 15－7 16－17）2 クリス チャン○ アデ

○方凱祥 2（18－17 15－8）0 チュン チュン

◆女子団体戦決勝

中国 3（単3－0 複0－2）2 インドネシア

◆男子シングルス

▽一回戦

土田 2（15－5 15－3）0 コウラド（フィ）

飯野 2（15－2 15－5）0 ハッサン（パ）

西尾 1（3－11 2－11 11－6）2 シルビア（マ）

▽二回戦

土田 0（11－15 5－15）2 ヌヌン（イ）

飯野 1（3－15 15－10 9－15）2 リエム（イ）

湯木 2（11－5 11－6）0 タティ（イ）

陳玉娘（中） 2－0 シルビア スリリャンテ（イ）

梁秋霞（中） 2－0 バク（朝）

▽準決勝

湯木 2（11－4 7－11 11－7 11－4）1 エブン（韓）

陳玉娘 2（11－2 11－5）0 ハン

梁秋霞 2（11－2 11－1）0 湯木

▽三位決定戦

陳玉娘 2（11－7 11－8）0 梁秋霞

湯木 2（11－2 11－4）0 ハン

▽決勝

湯木 2（11－4 7－11 11－7 11－4）1 エブン（韓）

▽三回戦

池田 梅野尾 2（15－10 5－15 17－14）1 陳新輝 庚耀東（中）

クリスチャン 2－0 カンナ オフジャ（印）

チャンドラ

湯仙虎 陳天祥（中） 2－0 バンディ サンゴブ（タ）

池田 梅野尾 2（15－6 17－16）0 ハッサン イクバル（パ）

チュンチュン ワジュディ 2－0 アフラトン ファルー（イラ）

▽準決勝

クリス チャン チャン ドラ 2（15－8 13－15 15－8）1 湯仙虎 陳天祥

池田 梅野尾 0（4－15 0－15）2 チュン チュン ワジュディ

▽三位決定戦

湯仙虎 陳天祥 2（15－3 15－2）0 池田 梅野尾

▽決勝

チュン チュン ワジュディ 2（15－7 15－9）0 クリス チャン チャン ドラ

◆男子ダブルス

▽二回戦

飯野 土田 0（10－15 12－15）2 クリス チャン チャン ドラ（イ）

中国チーム大活躍，

◆女子ダブルス

▽一回戦

湯木 池田 2 (15-15 15-9 15-5) 0 リー ソウ（朝）

▽二回戦

チュリシア イメルダ（イ） 2 (18-16 15-8) 0 相沢 竹中

陳玉娘 梁秋霞（中） 2-0 トンカム パタマ（タ）

ミナルニ レジナ（イ） 2 (17-15 15-12) 0 湯木 池田

林有雅 丘玉芳（中） 2-0 シリビア ロザリン（マ）

▽準決勝

陳玉娘 梁秋霞 2 (15-15 15-12) 0 チュリシア イメルダ

林有雅 丘玉芳 2 (18-15 7-15 15-12) 1 ミナルニ レジナ

▽三位決定戦

チュリシア イメルダ 棄権 ミナルニ レジナ

▽決勝

陳玉娘 梁秋霞 2 (15-15 15-12 15-10) 0 林有雅 丘玉芳

◆混合ダブルス

▽一回戦

クリシナ レジナ（イ） 2 (15-15 15-5 15-4) 0 梅野尾 竹中

モン（マ） アン（マ） 2 (15-15 15-6 15-8) 0 池田 池田

▽決勝

クリス チャン レジナ（イ） 2 (15-15 8-15 15-10) 0 チュン チュン スリ（イ）

（国名表示について）

イ＝インドネシア、マ＝マレーシア、タ＝タイ、イラ＝イラン、フィ＝フィリピン、パ＝パキスタン、中＝中国、韓＝韓国、朝＝朝鮮民主主義人民共和国、印＝インド

★注目された中国は、予想どおり各種目で大活躍した。特に女子では、団体、ダブルス、シングルスと完全にタイトルを握った。男子においても、ダブルスは三位にとどまったものの、シングルスでは一、二位を独占し、団体戦でもインドネシアに対し、シングルスの強さを見せつけて優勝した。

インドネシア男子チームは、エース、ルディ・ハルトノを欠いての出場であったため、シングルスで苦しくなり、ダブルスで二ポイントをあげたにとどまった。もし、ハルトノが出場し、湯あるいは侯と対戦すれば非常に興味ある内容となったと思われ、残念であった。

日本チームは団体戦につづいて個人戦も銅メダル一つがせいいっぱいという状態であった。

男子シングルスでは飯野・土田という若手の起用が、どのような結果をもたらすか大いに関心がもたれたが、残念ながら二人ともインドネシアのカベを破ることができず、二回戦で敗退した。ダブルスにおいても、飯野・土田は、インドネシアの強豪クリスチャン組と二回戦で対戦し、ストレートで敗れ去った。

全英選手権ベスト4の池田・梅野尾は、期待に応えてよく健闘し、二回戦で中国の庚耀東・陳新輝組をファイナル・ゲームの末降して、さらに準々決勝でパキスタンのハッサン・イクバル組を破って団体戦の雪辱をとげ、準決勝で全英チャンピオンのチュンチュン・ワジュディ組と対戦した。

しかし、圧倒的な実力差はどうにもならず、簡単に敗れ、三位決定戦でも、中国の湯仙虎・陳天祥組にストレートで敗れメダル獲得はならなかった。

一方、女子は来年のユーバー杯防衛を占うえでも、重要な大会と見られたが、結果は考えさせられるものとなった。

まず、若手西尾が、マレーシアのシルビアに一回戦で敗れてしまい、全英チャンピオンの湯木も、準決勝で中国の梁秋霞に圧倒的に信じられないようなスコアで敗れてしまった。さらにダブルスにいたっては、両ペアとも二回戦でインドネシアに敗れ、暗雲をただよわせた。

この結果、インドネシアはベテラン、若手が着実にポイントをあげ、勝つべきところでは勝っており、来年のユーバー杯は非常に苦しいものとなることが予想された。

当面、中国は考えなくてもよいわけだが、インドネシアと敵地で対戦し、勝つというためには、ホームタウン・ディシジョンの問題を考え合わせると、ある程度水をあけておかないとムリとなるわけである。しかし、とても水をあけるどころか、追いつくことを考えなくてはなるまい。

しかし、逆に、この不振の大会を機に、選手ならびに周囲の人々が、考えをあらたにし、来年のユーバー杯、さらにその先までの長期的な計画をたて、強い意志をもって今後にあたるなら、このアジア大会は、またとない良薬となるであろう。

少なくともこのままでは、良い結果は期待できまい。この良い結果というのは〝勝つ〟ことだけではない。

今後を大いに期待したいものである。

第17回全日本社会人選手権大会

今泉が初優勝をとげる、女子は湯木が順当勝ち

第17回全日本社会人バドミントン選手権大会は、わが国のトッププレーヤーをはじめ、全国から約三百名の選手が参加し、9月21日から三日間、青森県浪岡町民体育館と県民体育館で盛大に開かれた。

今大会は、昭和52年の〝あすなろ国体〟のバドミントン会場で開かれるため、浪岡町では国体のリハーサルということで、非常に気を配り、連日体育館に役員が多数つめかけるなど熱の入れ方もひとしおだった。

◆男子シングルス

▽四回戦

米沢和男（富山）2－0岩田昇（大阪）、今井茂満（東京）2－0池田文昭（大阪）、鷲尾正一（大阪）2－0山村徳太郎（東京）、遠藤好男（北海道）2－0村谷信之（茨城）、笠井教行（神奈川）2－1関村順治（富山）、尾崎幹雄（東京）2－0菅秀毅（埼玉）、長谷川進（石川）2－0鈴木祐（新潟）、田所光男（東京）2－0野村隆（大阪）、池田信孝（東京）2－0近藤晴孝（福井）、佐藤光伸（青森）2－0青山忠雄（愛知）、平井克英（埼玉）2－0牧野光男（富山）、谷口寛（愛知）2－0宇治収（和歌山）、今泉勉（富山）2－0山本敏彦（福井）、浜谷安裕（東京）2－0高橋清（神奈川）丸山法男（大阪）2－1米原照男（富山）、鈴木健二（東京）2－1堂谷内均（石川）

▽五回戦

米沢2－0今井、遠藤2－0鷲尾、尾崎2－0笠井、長谷川2－0田所、池田2－0佐藤、谷口2－0平井、今泉2－0浜谷、丸山2－0鈴木。

▽準々決勝

遠藤2－1米沢

■両者死力を尽しての大熱戦。第1ゲームは遠藤が、そして第2ゲームは米沢がとってのファイナルゲーム。ともにスタミナには自信のある二人だが、決め球がことごとく拾われ、途中からはムリ打ちをせず、長いラリーの応酬が続いた。しかし、遠藤は全力をふりしぼって米沢の追撃をはばんで一時間半の熱戦の末ベスト4へ入った。

長谷川2－0尾崎

■順当ならば尾崎と思われたが長谷川がよく走って先手先手と攻撃するのに対し、尾崎は前日のダブルスの疲れがみえ、精彩なく、大きなサイドアウトミスをくり返すなど、スコアのうえでは第二ゲームせったものの、内容的には長谷川の楽勝。

谷口2－0池田

■この試合もまた、両者全力を投入しての〝デスマッチ〟となった。池田は前日のダブルスで疲れており、谷口もまた、前日の疲れが抜け切らず、お互いに苦しい試合展開。第一ゲームは谷口がとり、第二ゲームも大きくリードしたが、終盤にはいって谷口はぱったりと足がとまり、スマッシュを全力で打って返球されるとノータッチという場面がしばしば見られるようになった。しかし、一方の池田も足が出ず、次第に疲れがつみ重なり苦しくなるとスマッシュ・レシーブに乱れが出はじめた。そしてサーブ権をとっても次に谷口の全力をこめたスマッシュでサーブ権を奪い返されるという状態。スタンドでみていつも二人の苦しさが伝わってくるほどで谷口が2－0で勝ったものの、次の試合は期待できない状態となってしまった。

今泉2－0丸山

■今泉は丸山の執ような食い下がりにあいながらも、ボールをコーナーに散らし、ミスの少ない今泉らしいプレーでベスト4へ進出した。

▽準決勝

遠藤2－0長谷川

今泉2－0谷口

■疲労こんぱいの遠藤とスタミナを残す長谷川の一戦は、長谷川有利かと思われたが、遠藤は気力でカバーし、第一ゲームを先取。しかし第二ゲームにはいって長谷川はジリジリと遠藤を追いつめ、これは……と思われた。そして10－7とリードし、ファイナルゲームにもつれこむ様相となったが、ここで長谷川はバランスをくずし、腰を痛めてしまった。

もし、腰を痛めなければという内容であったが、ここは遠藤のおどろくべきスタミナと気力を賞賛したい。

一方の今泉は、谷口を全く相手とせず、難なくストレート勝ちした。谷口はもう限界といった様子でサーブを返すのがやっとという状態で、またもベスト4のカベを破れなかった。

▽決勝

今泉2－0遠藤

■超人的な体力と気力で決勝まできた遠藤も、ついに余裕十分の今泉の前に屈した。しかし、決勝戦にふさわしい頑張りをみせたのは立派であった。

◆男子ダブルス

▽四回戦

田所・浜谷（東京）2－1谷口・松島（愛知）、笠井・高橋（神奈川）2－1北方・東（石川）、河村・今泉（富山）2－0佐藤・佐藤（青森）、鈴木・栂野尾（東京）2－0杉田・瀬戸（神奈川）、鷲尾・水川（大阪）2－0伊藤・佐々木（青森）、池田・

尾崎（東京）2－0村谷・和田（茨城）、関村・牧野（富山）2－0山本・佐藤（東京）、小島・宮川（神奈川）2－0岩田・滝野（大阪）

▽準々決勝

田所・浜谷2－0笠井・高橋

■田所組は、前の谷口・松島戦でかなりせったため、苦しいゲームではあったが、笠井組のペースを乱し、終始自分たちの思うままに進めた。

河村・今泉2－0鈴木・栂野尾

■鈴木・栂野尾組の高い打点からのスマッシュがほとんど顔を出さないうちに終了。

池田・尾崎2－0鷲尾・水川

■尾崎は後衛で打ってよし、前へ出てもよしといった調子の波に乗りかけて楽勝。

小島・宮川2－1関村・牧野

■ダブルス一本に絞って優勝をねらってきた小島・宮川組であったが、関村のしつこい守りと牧野のスマッシュ攻撃に、途中何度も立往生しながらの辛勝。しかし、体力的にかなり負担のかかっているようすがうかがえるようになってきていた。

▽準決勝

河村・今泉2－0田所・浜谷

池田・尾崎2－0小島・宮川

■河村・今泉は、すっかり疲れのみえた相手に対し、丁寧な配球と確実なレシーブで危げなく勝った。

事実上の決勝かとみられた池田組対小島組の対戦は非常に見ごたえのある一戦であった。

宮川にいまひとつ当たりが出ず、苦しい展開をしいられている小島・宮川組に対し、池田・尾崎は、尾崎が快調で、よくスマッシュを打ち、池田もうまく尾崎をリードし、自らはネットぎわの処理が速く、会心のゲームで決勝へ進んだ。

▽決勝

池田・尾崎2－0河村・今泉

■決勝になっても池田組の調子は依然好調で、接戦になるという予想に反して楽勝で栄冠を獲得した。

◆女子シングルス

▽四回戦

湯木博江（東京）2－0佐藤正江（神奈川）、沼能久子（栃木）2－0塩崎睦子（富山）、池田静江（愛知）2－0高田幹子（大阪）、高崎弘子（兵庫）2－0中村正枝（福井）、柴山きよ子（東京）2－0柿本彰子（長崎）、田村静子（北海道）2－1尼崎初子（兵庫）、池田美加（東京）2－0川東秀美（香川）、石崎茂子（東京）2－1藤井由美子（栃木）

▽準々決勝

湯木2－0沼能、高崎2－1池田、柴山2－0田村、石崎2－1池田

▽準決勝

湯木2－0高崎

石崎2－0柴山

■すっかり手の内を知った者同士のゲームだけに全く盛り上がりなく淡々とした結果に終わった。

▽決勝

湯木2－0石崎

■アジア大会から帰ったばかりの湯木は、体が重くミスも多く全く冴えないプレーであったが、石崎もその湯木を追いこむことができず、全日本社会人の決勝としてはまことに内容に乏しいものであった。

◆女子ダブルス

▽準々決勝

薗浦・田所（香川）2－0大貫・坂入（栃木）、湯木・池田（東京）2－0塩崎・京田（富山）、田村・高野（北海道）2－0石崎・今田（東京）、沼能・藤井（栃木）2－0宮本・天野（東京）

▽準決勝

湯木・池田2－0薗浦・田所

沼能・藤井2－1田村・高野

■北海道の田村・高野がよくがんばったのが目についたくらいで、相変わらず盛り上がりに欠けた内容。

▽決勝

湯木・池田2－1沼能・藤井

■スコアはファイナル・ゲームであるが、湯木・池田が一方的にミスをしてポイントを落とし、立直ってはポイントをあげるという展開で、これといったヤマ場もなく、とても決勝とは思えないゲームであった。

混合は今井・池田が圧勝

◆男子30才以上シングルス

▽準決勝

鈴木勝之（神奈川）2－0奥村明義（石川）

吉田邦男（神奈川）2－0三浦勇悦（青森）

▽決勝

鈴木2－0吉田

■地元浪岡出身の吉田は、後輩やかつての同僚の声援を受けて健闘したが、鈴木のカベは厚く準優勝にとどまった。

◆男子30才以上ダブルス

▽決勝

鈴木・吉田（神奈川）2－0奥村・中田（石川）

■シングルス一、二位の二人が組むペアだけに、実力はずば抜けており、奥村・中田組にはほとんどチャンスらしいチャンスもなく、鈴木組の楽勝。

◆男子40才以上シングルス

▽準決勝

毛利清志（岡山）2－0神山周二（北海道）

畑　忠雄（福井）2－0浜中　誠（愛媛）

▽決勝

毛利2－1畑

◆男子50才以上シングルス

▽準決勝

上口正一（東京）2－1久代貫三郎（京都）

中村高久（愛知）2－0佐藤　哲郎（北海道）

▽決勝

中村2－0上口

◆混合ダブルス

▽二回戦

杉田・杉田（神奈川）2－0杉上・薗浦（香川）、木村・高野（北海道）2－0田所・今田（東京）、鈴木・小笠原（東京）

2－0高橋・遠藤（神奈川）、平井・柴山（東京）2－1神戸・山本（福井）、吉田・紅野（神奈川）2－0明間・天野（東京）、山田・田村（北海道）2－0松島・池田（愛知）、今井・池田（東京）2－0日下部・嶋（静岡）、山本・高橋（東京）2－0寺崎・中村（福井）

▽準々決勝

木村・高野2－1杉田・杉田

■前日のダブルスでも元気いっぱいだった高野は、この日も快調で前衛で積極的に手を出し、うまくミドル・ボールを使って出足から押し気味に進めた。そして第一ゲームを先取、第二ゲームは接戦の末落としたが、ファイナルゲーム中盤から再び調子をとりもどし、第一シードを破る殊勲をたてた。

平井・柴山2－0鈴木・小笠原

■平井と柴山はコンビネーションよく走り、つないだが、鈴木・小笠原はときおり二人が重なってしまうなど動きに乱れが目立ち、ベスト4入りは果たせなかった。

山田・田村2－1吉田・紅野

■第一ゲームの様子からすれば吉田組の楽勝かと思われたが、第二ゲームにはいる前半に吉田組にミスが目立ち、しだいに山田・田村に調子が戻り、互角の打合いとなった。前半戦に比べると中盤以降は、吉田・紅野はスピードが落ち、とくに前衛でのストップが狂いはじめた。そして、田村が後ろからも打つなど積極的な攻撃に終始した山田組はファイナル・ゲームも点差を開いて逃げ切った。

今井・池田2－0山本・高橋

■これといったミックスの味はまったくないが、とにかくよく打つペアの今井・池田は若さにものをいわせて圧勝。

▽準決勝

平井・柴山2－1木村・高野

今井・池田2－0山田・田村

■ベスト4までよく戦ってきた北海道の二つのペアも、ここで力つきた感があったが、両ペアとも意気があい、よく走り拾うという非常に好感のもてるゲームぶりで、地元の中・高校生のさかんな声援を受けていた。

▽決勝

今井・池田2－0平井・柴山

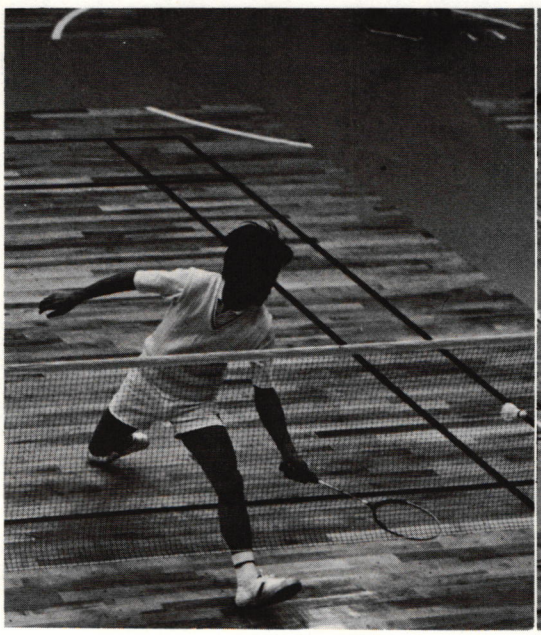
■決勝に残った四人とも同じチームのメンバーだけに、全く波乱はなく、順当な結果に終わった。

□　□

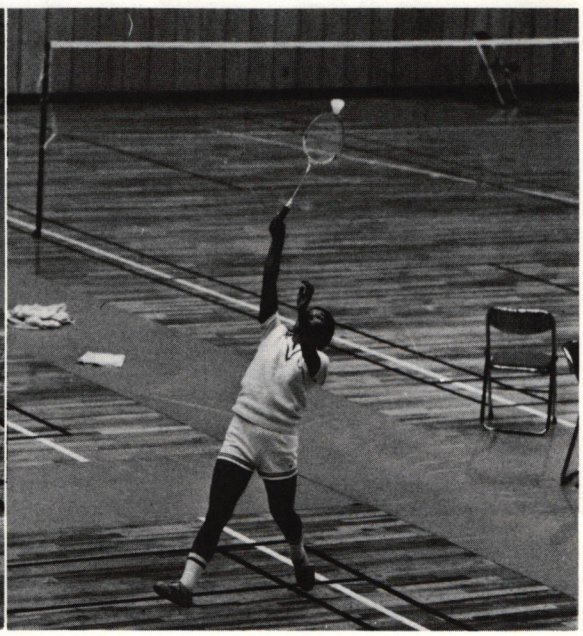
今大会は、男子においては連日、好試合が見られ、とくにシングルスにおける遠藤（北海道）の復調、長谷川（石川）の健闘、ダブルスにおいてはベスト8にはいるのも全精力を使いはたすなどのゲームも数多く、田所・浜谷（東京）対谷口・松島（愛知）の試合などは、三ゲーム目一方的になったものの、両者ともに全力を出したという充実感がスタンドにまで伝わってきた。また、学生時代カベにつき当たった感じの尾崎（東京）も池田のうまいリードでその持ち味を十分発揮し、みごとに優勝した。池田もアジア大会直後という悪条件も表面に見せず、単複とも一つ一つけん命に取り組む態度は立派であった。

一方女子は、残念ながらこれといった盛り上がりに欠け、とくに王者湯木は不調そのもので、一目見ようとつめかけた地元ファンの期待を裏切ったのは否めない。その中で愛知の池田、北海道の田村らがよく頑張り、また新人の高田（大阪）、佐藤（神奈川）は16入りをはたし、今後に期待をもたせた。

国体のリハーサル大会ということで、非常にキメの細かい熱のこもった運営が行なわれ、会場と宿舎の距離も送迎バスで解消するなど、かなり恵まれた大会であった。

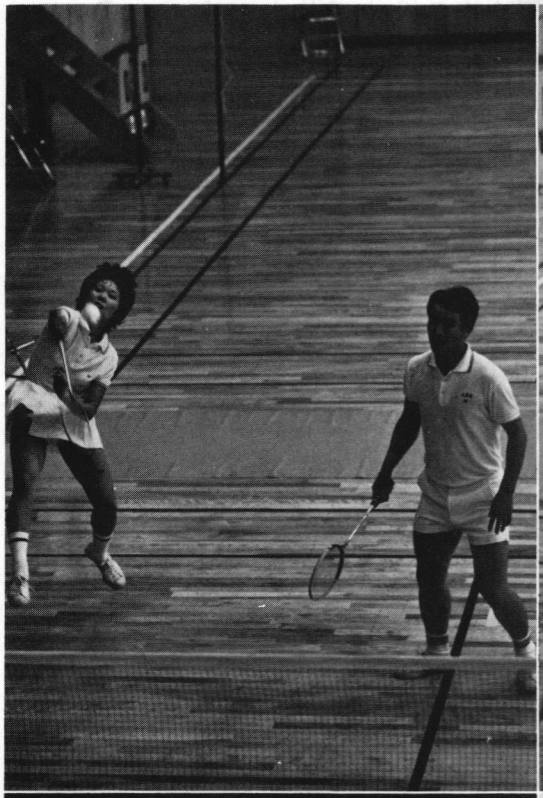


笠井（神奈川）

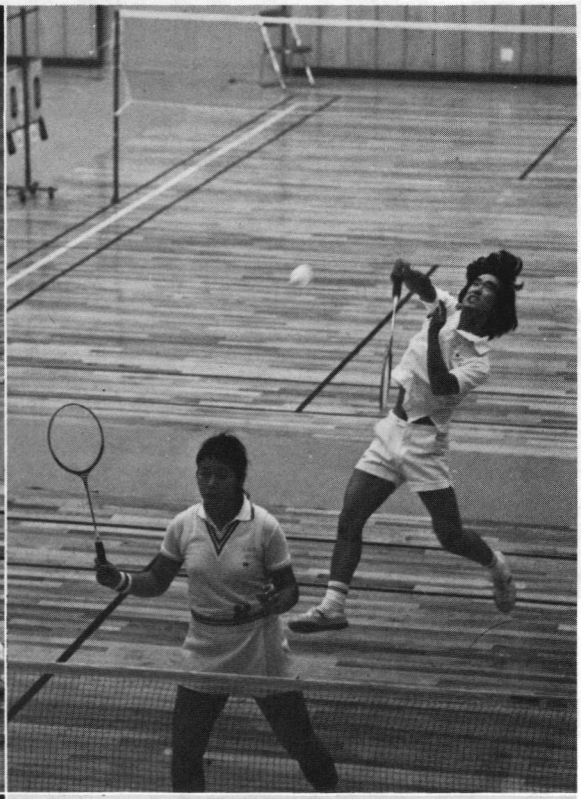


石崎（東京）

木村・高野組（北海道）

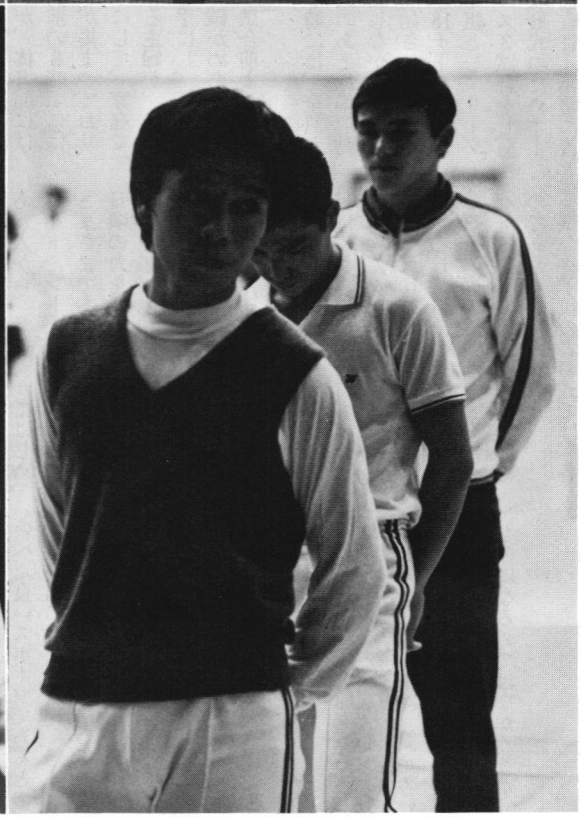


山田・田村組（北海道）





30才単複優勝の鈴木（神奈川）



男子シングルス，手前から今泉，遠藤，谷口

お母さん、がんばれッ!!

名古屋でママさん大会 盛大に開催さる

全国各地でママさんバドミントンのサークルが生まれ、県単位で試合が組まれるようになってきましたが、愛知県においても六年前普及委員会が中心になり、県下最初のママさんバドミントンのサークルが誕生し、現在では二十数余のサークルが活動するまでに発展してきました。これを機に愛知県バドミントン協会では、中日新聞社の共催をえて、8月25日県体育館に18チーム、二〇〇名の参加者を集め、第一回愛知県家庭婦人バドミントン大会を開催いたしました。



念入りな準備体操をして



けんめいの試合ぶり

●観戦記

ママさん大会ならではの風景

愛知県広報委員長　**大場直美**

ママさんバドミントンの言葉から感じるのは和気あいあいのムードで試合が進行するように思っていましたが、体育館には試合開始1時間前の8時頃には4~5名の選手が集まっており、日頃、包丁を手にして、家庭で動きまわっている主婦が、今日は、ラケットを手にし、ふだんの練習の成果を確かめあおうという意気ごみが試合前より感じられた。

試合開始の9時には、全員が集合し、開会式のあと準備運動の重要さを説明しながら体をほぐし、試合が開始された。

試合形式は、18チームを4つに分け春夏秋冬組とし、リーグ戦方式でダブルス3試合をし、2ポイント先取形式のためオーダーに関しても監督は非常に苦労をしていた。

選手層は53才~24才と幅広く、かって全日本に出場した経験のある人から、サークルではじめてバドミントンをした主婦までさまざまである。試合のほうは、日頃の力を発揮し、各所にすばらしいプレーも見うけられ、珍プレーも続出したが、試合の態度は真剣そのもので、シャトルを追う目は、日頃家庭では見られないものであった。

しかし、試合がおわればその目はやさしい母の目にもどり、赤ちゃんをご主人共どもあやすもの、又ゆりかごにのせるもの、だっこして自分のチームを応援するもの等の風景は、家庭婦人バドミントン大会ならではのものであった。

試合終了後の表彰式では、各組の優勝チームにはいろいろな賞品が渡され、特別賞として、大会最高齢者の他2名にも賞品が用意されていて、おもわない賞に主婦はにこにこして、大会は終った。

大会後、2~3人の主婦にバドミントンに関するインタビューを行なったところ、すべての人から運動不足の主婦にとって、健康及び精神面を考えれば、たいへん良いスポーツであるとの意見が出ていた。

試合に関しては、初めてのことなので相手のコートにシャトルを返すのがせいいっぱいで、相手の動きなどは見ていることが出来ないとか、かたくなってしまい、自分自身の動きもギクシャクしていたなどの意見もきかれた。

出場選手が体育館をさる時、来年は優勝するんだと皆んなで話しながら帰る姿は、満足のいくプレーが出来たのであろう。来年の大会はもっとすばらしいものになるのではなかろうか。



（上）試合を終えて晴れの表彰

〔試合結果〕

春組・1位＝豊田婦人同好会（3勝）、2位＝犬山城クラブ（2勝1敗）、3位＝県スポーツ会館城北同好会（1勝2敗）、4位＝大池田地羽根の会（3敗）

●個人賞＝堀江綾子（犬山城クラブ）

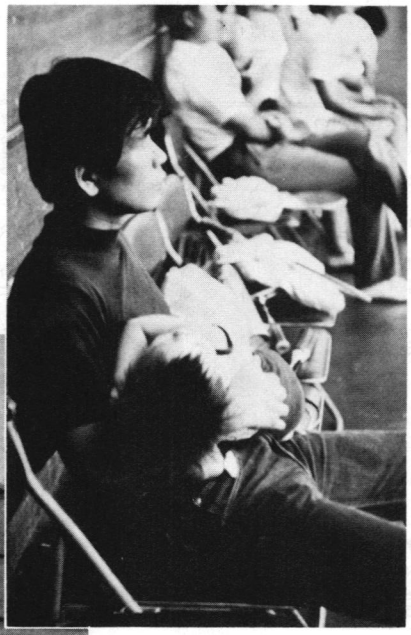
夏組・1位＝県体女性教室クラブ（4勝）、2位＝豊田けやき会（2勝2敗）、犬山乾山クラブ（同）、東海市同好会（同）、5位＝江南市ママさんクラブ（4敗）

●個人賞＝可児勝子（犬山乾山クラブ）

秋組・1位＝東海クラブ（3勝）、2位＝犬山市婦人クラブ（2勝1敗）、3位＝県スポーツ会館城西同好会（1勝2敗）、4位＝蒲郡婦人クラブ（3敗）

●個人賞＝伊藤輔沙子（県スポーツ会館城西同好会）

冬組・1位＝刈谷クラブ（4勝）、2位＝県スポーツ会館名城同好会（3勝1敗）、3位＝豊田ひまわり会（2勝2敗）、4位＝犬山白帝クラブ（1勝3敗）、5位＝犬山婦人会羽黒クラブ（4敗）



（上）きょうのおもりは
パパの役目です

（下）ベビーカーもコートサイドに



昭和49年度日本バドミントン協会検定審査用具一覧表

銘柄名		価格	会社名
検定合格			
シャトル　水鳥の部			
エリート・デラックス	1打	¥ 3,500	河崎ラケット工業㈱
エリート・トップ	〃	¥ 2,900	〃
エリート・エース	〃	¥ 2,700	〃
ハイレッド	〃	¥ 2,400	株式会社　三和
No.195ゴールド・デラックス	〃	¥ 3,400	株式会社　ゴーセン
No.200ゴールド	〃	¥ 2,900	〃
No.210シルバー	〃	¥ 2,600	〃
ファスト・ゴールド	〃	¥ 2,800	有限会社　ジャワ商会
ファスト・シルバーE7	〃	¥ 2,600	〃
ファスト・グリン	〃	¥ 2,400	〃
トーナメント・デラックス	〃	¥ 3,500	ヨネックス・スポーツ㈱
トーナメント	〃	¥ 2,900	〃
トーナメント・ホワイト	〃	¥ 3,000	㈱トヨダスポーツ
トーナメント・ブルー	〃	¥ 2,700	〃
トーナメント・ブラック	〃	¥ 2,500	〃
ハタチ・ビクトリー	〃	¥ 3,000	羽立工業株式会社
サンバタ・スター	〃	¥ 3,500	株式会社　諸江製作所
サンバタ・キング	〃	¥ 2,900	〃
サンバタ・クィーン	〃	¥ 2,700	〃
シャトル　陸鳥の部			
検定球	1打	¥ 1,600	ヨネックス・スポーツ㈱
サンバタ	〃	¥ 1,600	株式会社　諸江製作所
サンバタB	〃	¥ 1,600	〃
ネットの部			
倉敷ビニロンマツモトネット		¥ 3,400	松本製網株式会社
No.48TR		¥ 4,500	ミセキネット製作所
No.50VA		¥ 4,300	〃
No.52A		¥ 3,700	〃
T－518		¥ 4,200	株式会社　寺西喜商店
カネヤビニロンA		¥ 4,700	鐘屋産業株式会社
カネヤナイロンB		¥ 4,100	〃
#70－2112		¥ 4,500	㈱ジィティヤング
#70－3015		¥ 3,900	〃
#70－3115		¥ 4,300	〃
ポストの部			
T座式バドミントン支柱		¥17,000	ヨネックス・スポーツ㈱
B50		¥13,500	セノー株式会社
B51		¥21,000	〃

銘柄名	価格	会社名
No.10スリーエース	¥ 1,800	ヨネックス・スポーツ㈱
No.8スリーエイト	¥ 1,500	〃
No.7ラッキーセブン	¥ 1,200	〃
S－74オールアタック	¥ 5,000	株式会社　諸江製作所
S－73オールマイティ	¥ 3,800	〃
No.3500キングメイト	¥ 4,000	〃
No.3000ゴールド・キング	¥ 3,500	〃
No.2500キング・アロー	¥ 2,800	〃
No.2000キング・クリッパー	¥ 2,300	〃
No.1000シルバーデラックス	¥ 1,900	〃
No.900スナップ	¥ 1,800	〃
No.800ダンディ	¥ 1,500	〃
ハタチフットワーク	¥ 4,000	羽立工業株式会社
ハタチカスタム	¥ 3,500	〃
ハタチフランチャー	¥ 3,000	〃
ハタチジオニー	¥ 2,000	〃
オールスチールグラード	¥ 3,500	〃
No.2000ニューブラック	¥ 2,000	㈱トヨダスポーツ
No.1000ニューミニ	¥ 1,800	〃
No.8ウインナー	¥ 1,300	〃
No.7シルバー	¥ 1,000	〃
ウエアの部		
S－14TTT半袖シャツ	¥ 2,800	河崎ラケット工業㈱
No.508リース半袖シャツ	¥ 2,200	〃
No.505リース・ノースリーブシャツ	¥ 2,100	〃
No.502リース・長袖シャツ	¥ 2,300	〃
No.500リース・半袖シャツ	¥ 2,100	〃
No.517リース・長袖ハイネックシャツ	¥ 2,300	〃
No.516リース・半袖ハイネックシャツ	¥ 2,100	〃
No.512リース・長袖シャツ	¥ 1,700	〃
No.510リース・半袖シャツ	¥ 1,500	〃
K－11TTT巻スコート	¥ 3,800	〃
No.595リース・プリーツ・スコート	¥ 2,000	〃
No.594リース巻スコート	¥ 3,000	〃
No.590リースフレアースコート	¥ 2,500	〃
No.596リースアンダースコート	¥ 700	〃
No.535リースショートパンツ	¥ 2,100	〃
No.532リースストレッチショートパンツ	¥ 3,400	〃
デフィ・ライン入半袖シャツ	¥ 3,000	〃
デフィスコート	¥ 3,300	〃
デフィライン入巻スコート	¥ 3,600	〃
デフィショートパンツ	¥ 3,600	〃
No.373ルバードウェア半袖シャツ	¥ 1,900	株式会社　ゴーセン

バドミントン支柱　ホール式	¥ 6,800	㈱ 小 川 長 春 館	
バドミントン支柱　T座式	¥17,000	〃	
バドミントンポスト	¥ 6,500	㈱ 都 村 製 作 所	
バドミンポスト　T字式	¥ 6,500	〃	
ラインテープの部			
No.415コートテープ	¥ 2,300	ヨネックス・スポーツ㈱	
シムレス・ラインテープ（特殊紙）	¥ 2,000	タ チ カ ラ 株 式 会 社	
セノーラインテープ	¥ 2,160	セ ノ ー 株 式 会 社	
カワサキラインテープ	¥ 2,200	河崎ラケット工業㈱	
赤Mラインテープ	¥ 1,800	昭 和 ゴ ム 株 式 会 社	
サンバタバドミントンコートテープ　緑	¥ 2,100	株式会社　諸 江 製 作 所	
〃　白	¥ 2,100	〃	
〃　黄	¥ 2,100	〃	
審 査 合 格			
合成シャトルの部			
カワサキリーブ　1打	¥ 2,700	河崎ラケット工業㈱	
メイビス　1打	¥ 200	ヨネックス・スポーツ㈱	
ハタチハネエース　1個	¥ 2,700	羽 立 工 業 株 式 会 社	
ナッシュ　1個	¥ 160	株式会社　諸 江 製 作 所	
ラケットの部			
B－65ゴーセンルバード	¥ 4,500	株式会社　ゴ ー セ ン	
B－60スワニー	¥ 4,500	〃	
B－55エクセレント	¥ 4,200	〃	
B－40ファイアレス	¥ 3,000	〃	
No.B－73Fオールマン	¥ 4,500	河崎ラケット工業㈱	
B－69Fブルーリース	¥ 4,000	〃	
No.1200Fスタミナ・デラックス	¥ 3,500	〃	
No.1000Fスタミナ	¥ 3,000	〃	
No.201Fウイニング・コース	¥ 2,000	〃	
No.204ファインストローク（張り上り）	¥ 1,800	〃	
No.206エバーウイン　（　〃　）	¥ 1,600	〃	
No.210ハード・ショット　（　〃　）	¥ 1,300	〃	
No.9100スリム・ステンレス	¥ 5,300	ヨネックス・スポーツ㈱	
No.9000ハイ・ステンレス	¥ 4,800	〃	
No.8100ブラッキー	¥ 5,500	〃	
No.8000アルミナ・ハイパワー	¥ 5,000	〃	
No.7000アルミナ・エース	¥ 5,000	〃	
No.6500トップエース	¥ 4,300	〃	
No.6000ファイブ・エース・デラックス	¥ 4,500	〃	
No.3000カレッジエイト	¥ 3,000	〃	
No.2000キングダイヤ	¥ 2,300	〃	
No.1000クインハート	¥ 2,000	〃	

No.372ルバードウェア半袖シャツ	¥ 1,900	〃
ルバードウェアショートパンツ	¥ 1,900	〃
	¥ 2,050	〃
No.243女子ノースリーブシャツ	¥ 1,900	ヨネックス・スポーツ㈱
No.140クールネックシャツ	¥ 1,800	〃
No.141男子シャツ	¥ 2,000	〃
No.142　〃　（ライン入）	¥ 2,200	〃
No.241女子シャツ	¥ 2,000	〃
No.242　〃　（ライン入）	¥ 2,200	〃
No.120ショートパンツ	¥ 2,800	〃
No.121ショートパンツ	¥ 2,400	〃
No.122ショートパンツ	¥ 2,100	〃
No.920女子ショートパンツ	¥ 2,500	〃
No.200女子巻スカート	¥ 2,600	〃
No.201女子フレアースカート	¥ 1,900	〃
No.203女子プリーツスカート	¥ 1,800	〃
No.214女子ワンピース	¥ 5,500	〃
No.940女子ワンピース	¥ 6,500	〃
No.950女子プルオーバー	¥ 6,000	〃
シューズの部		
バドミントンシューズ	¥ 2,000	河崎ラケット工業㈱
バドミントンシューズ	¥ 2,000	ヨネックス・スポーツ㈱
ストリングスの部		
LEOINA-SHEEP	¥ 450	東 亜 合 繊 ㈱
HORN-SHEEP DX	¥ 400	〃
HORN-SHEEP	¥ 350	〃
SP-SHEEP	¥ 300	〃
SANY-SHEEP SSW	¥ 300	〃
TOA-GUT	¥ 200	〃
No.600ヨネックスシープA	¥ 300	ヨネックス・スポーツ㈱
No.610ヨネックスシープB	¥ 400	〃
No.20サンバタバドミントンガットサンシープ	¥ 250	株式会社　諸 江 製 作 所
No.K226サンバタバドミントンガット	¥ 150	〃
No.100サンバタバドミントンガット	¥ 350	〃
No.10サンバタレインボーシープ	¥ 300	〃
No.279ロンシープ	¥ 300	河崎ラケット工業㈱
No.276コンカー	¥ 400	〃
No.270ニューナイロン	¥ 150	〃
No.1000ハイシープ	¥ 300	株式会社　ゴ ー セ ン
No.1100ハイシープデラックス（赤スパイラル）	¥ 350	〃
No.2000ハイオーシープ（青スパイラル）	¥ 450	〃
No.2000ハイオーシープ（アンバー）	¥ 450	〃
No.1500ハイシープダイヤ	¥ 400	〃
No.1100ハイシープデラックス（緑スパイラル）	¥ 350	〃

アジア大会
写　真　集

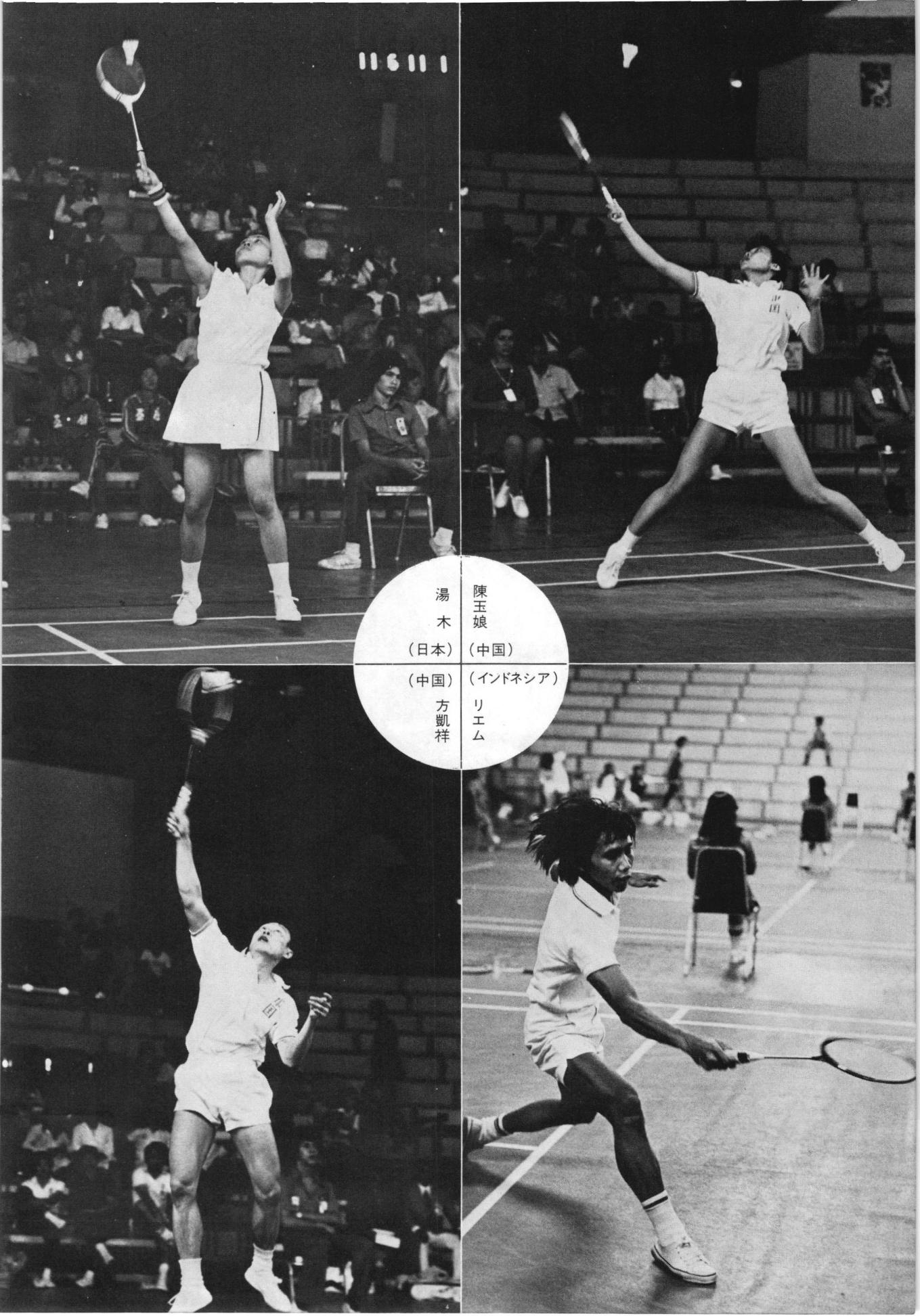
〔写真　㈱ フォート・キシモト〕

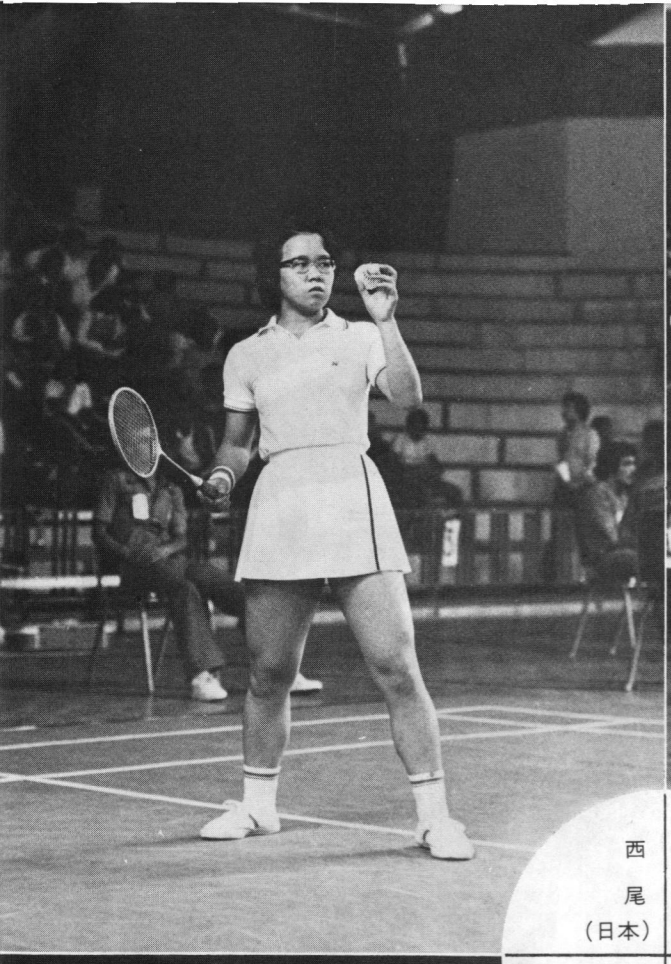


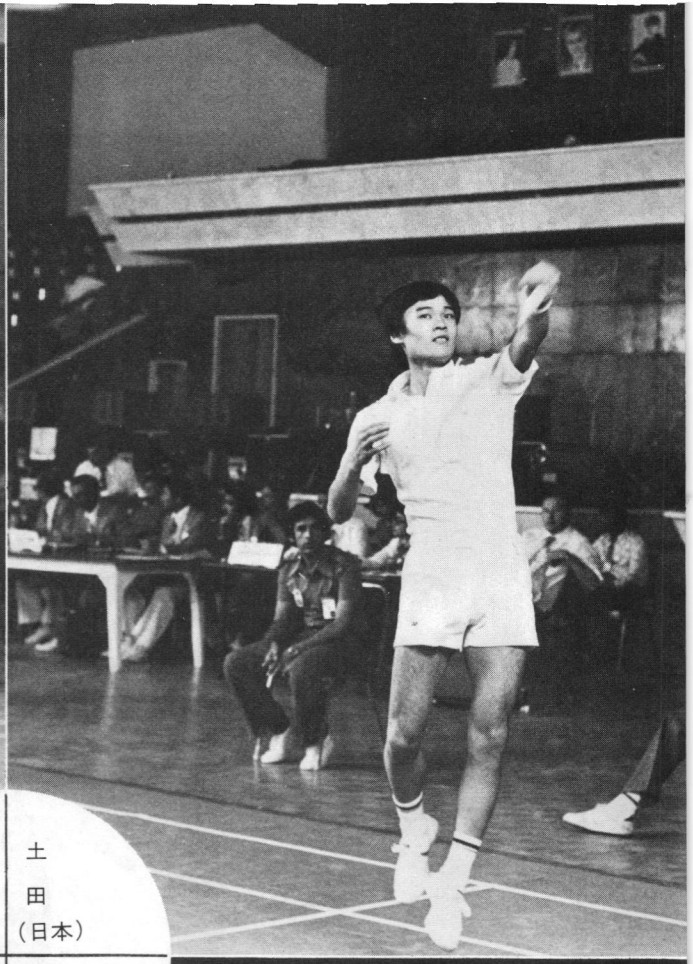
女子シングルスで圧倒的な強さをみせて優勝した陳玉娘（中国）



準決勝で全英チャンピオンの湯木を一方的に降し，二位となった梁秋霞

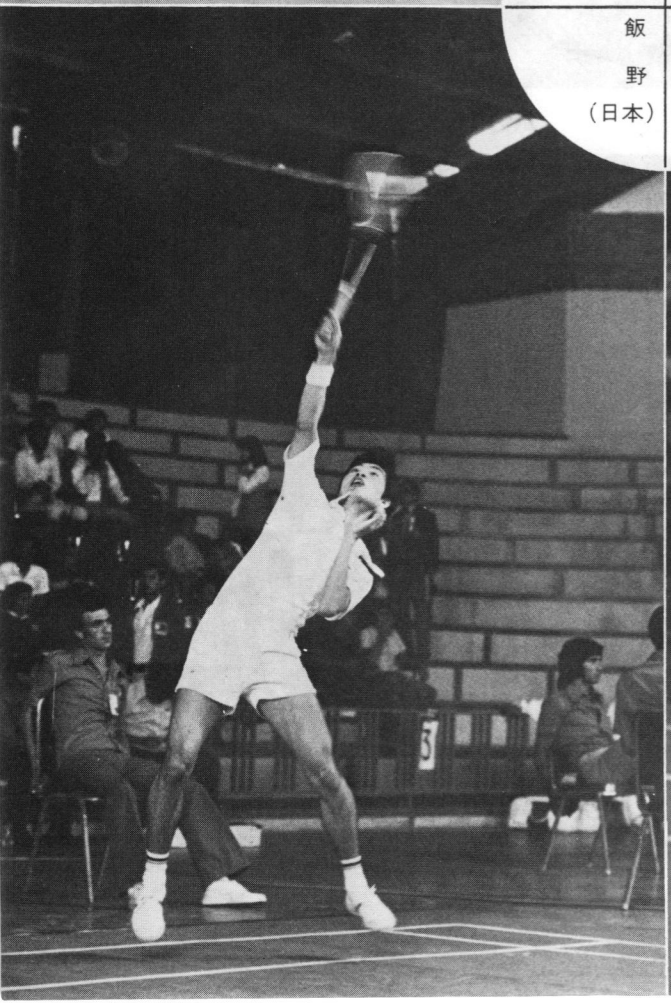

陳玉娘（中国）
湯木（日本）
リエム（インドネシア）
方凱祥（中国）





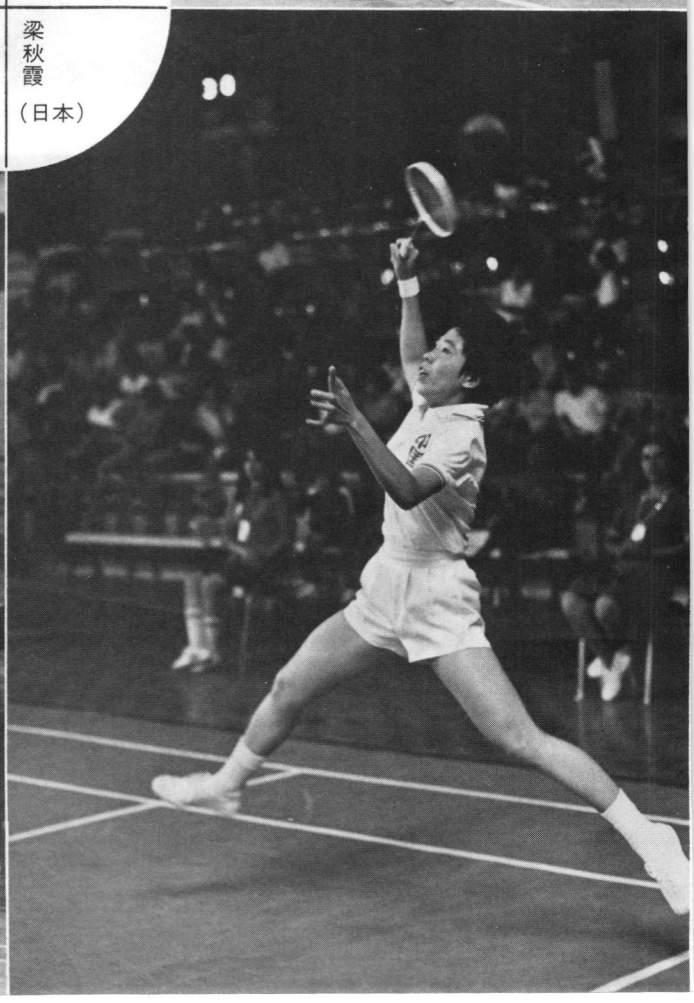
西尾（日本）

土田（日本）



飯野（日本）

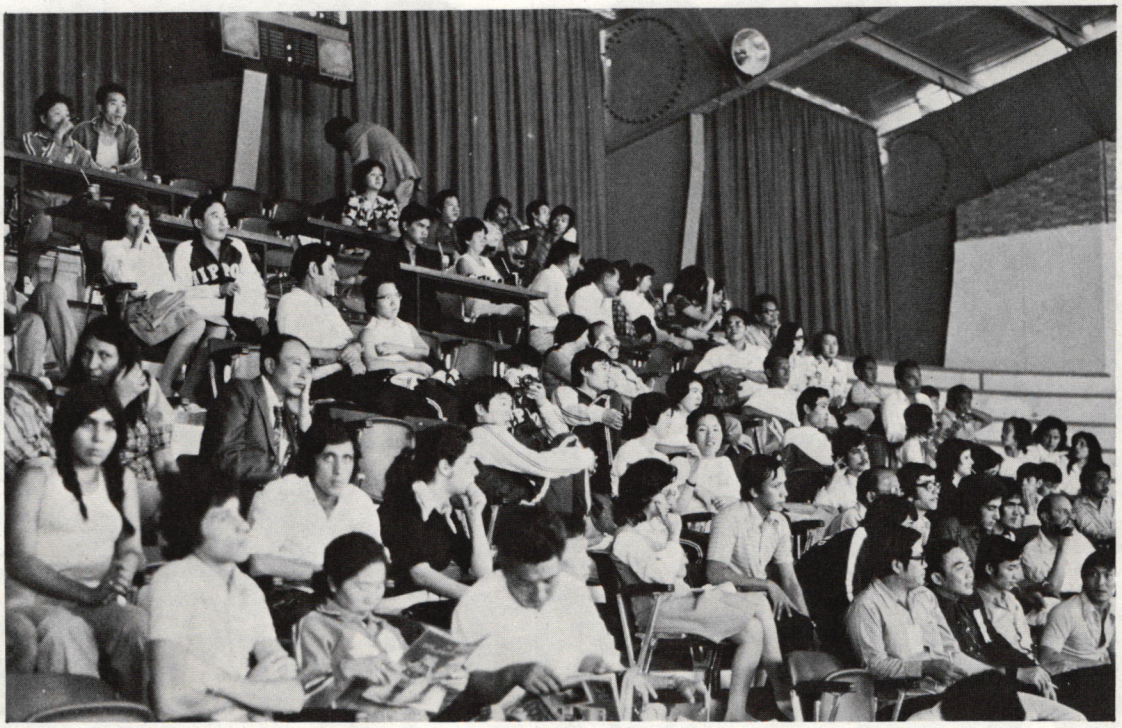
梁秋霞（日本）



組合せを見る福井コーチと
飯野選手



スタンドで観戦中の
日本チーム（中央付近）





左から相沢・池田・池田(美)の各選手



試合のようす

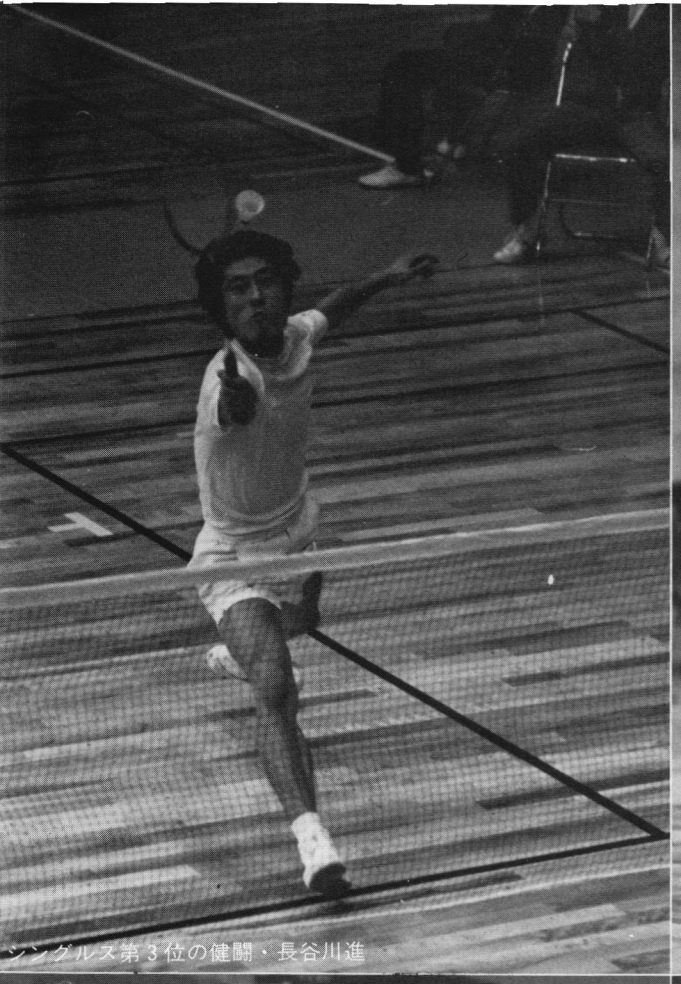
全日本社会人選手権写真集



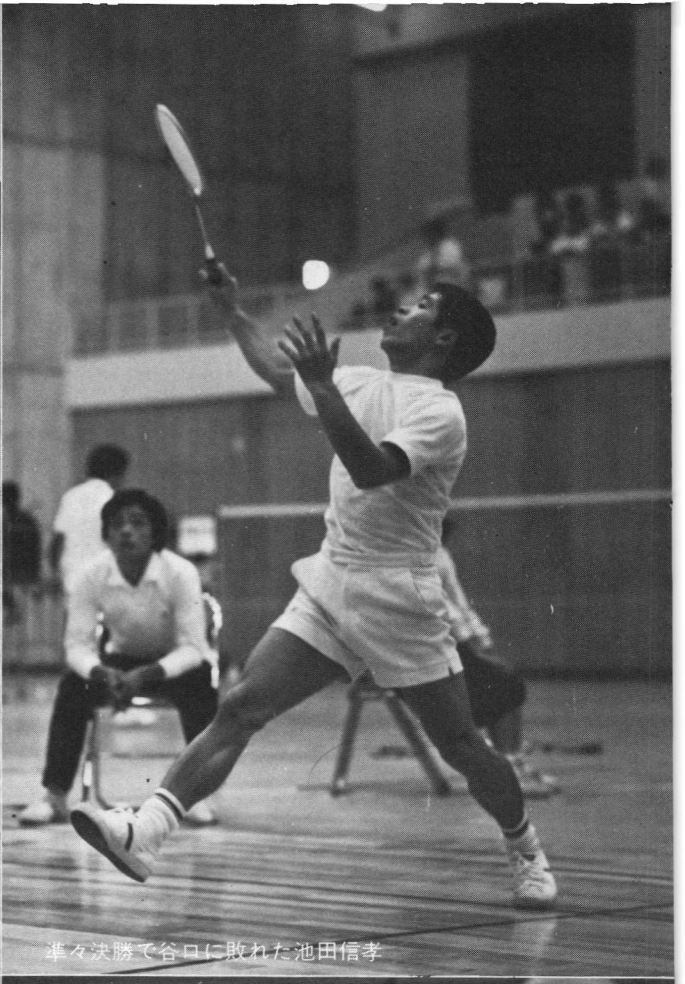
男子ダブルス優勝の池田・尾崎組



混合ダブルス優勝の今井・池田組



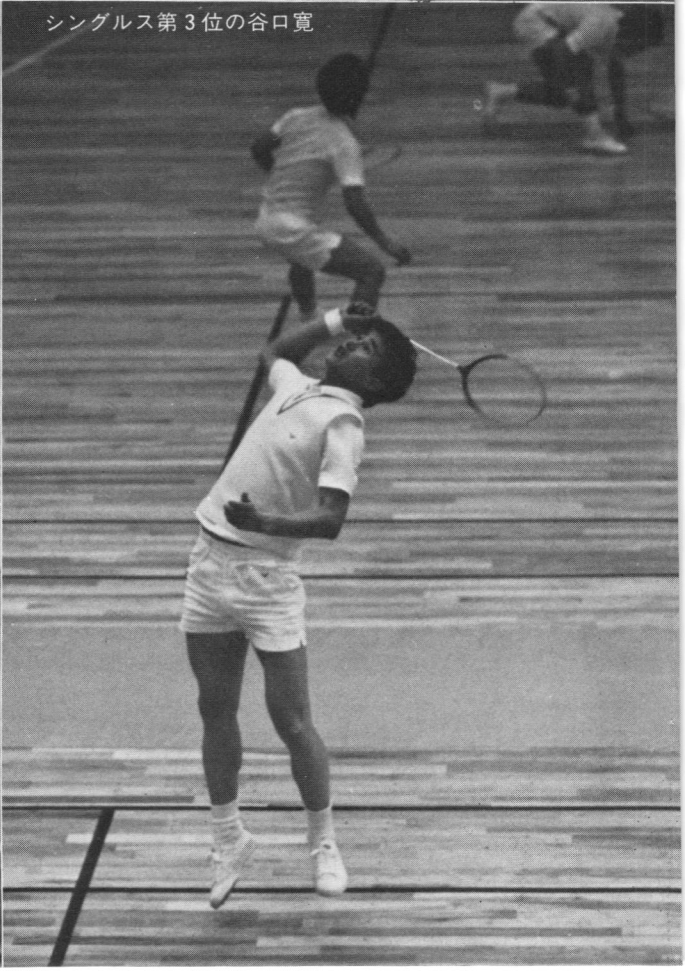
シングルス第3位の健闘・長谷川進



準々決勝で谷口に敗れた池田信孝



シングルス準優勝の遠藤好男



シングルス第3位の谷口寛



混合ダブルス準優勝の平井・柴山組



男子ダブルス第３位の小島・宮川組

手応え確か。

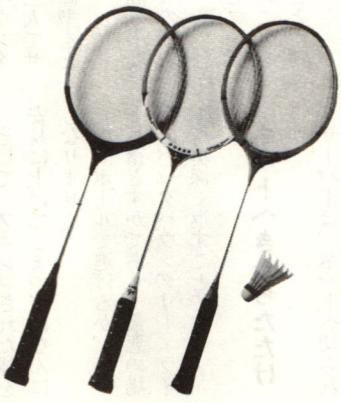
ゴーセンバドミントンラケット



白いシャトルコック目がけて力いっぱいふりおろす——インパクトの瞬間に感じる勝利の手応え！

ゴーセンのバドミントンラケットはまさにあなたの腕の延長。はじきの良さと軽やかさ——これがゴーセンバドミントンラケットの特長です。

その他、シャトルコック・ウエアも数多く用意しています。お求めは全国有名デパート・スポーツ店でどうぞ。



GOSEN RACKET
FOR BADMINTON

株式会社ゴーセン

本　社■大阪市東区豊後町4　☎(06)942-5816(代)
東京支店■東京都台東区鳥越1-26-1☎(03)862-6576(代)

実戦教室 〈第9回〉

的アドバイス

小島一平

スマッシュは下からは打てない

まず、ダブルスにおいて最も重要な基本的なことは、相手ペアに球を上げさせ、自分たちが常に攻撃の体勢にいるということです。

このことができれば、断然有利に試合を進めることができるのです。

シングルスと違って、二対二の闘いですから、スタミナもシングルスと比べると楽です。

そこで、常に二人で攻撃から攻撃へと連続して打ち続けられることが望ましいわけです。

しかし、攻撃するためには、まず相手に球を上げさせなければなりません。相手の打球がネットより下へ向かって来たのでは打ち込むことはできません。

そこで、今回は、どのように攻めたら相手に球を上げさせることができるか、また逆に攻められた場合は、どのように対処すれば切り返して、自分たちの攻撃を開始することができるかを書いてみたいと思います。

まずサービスをつぶせ

相手のサービスを鋭く攻めこみ、つぶすことがまず大切です。要するにプッシュです。

まず、相手のボディ、または前衛、後衛の中間を攻めるのも効果的です。

ロング・サービス（ドライブ・サービス）がきたら、必ずたたくことです。

しかし、自分がショート・サービスを予見していたところ、裏をかかれてロング・サービスがきて、逆モーションとなり、シャトルの下へはいるのがおくれ、無理な体勢となる場合もあります。

こういったときは、相手のサイドへスマッシュを打つと、自分の体勢がくずれているところへ、さらにふり回される危険が強く、実際に逆に攻めこまれるケースがたびたびありますので注意が必要です。

この場合は、相手のボディをねらってハーフスピードのスマッシュを打つか、またはカットやドロップで逃げるようにすべきです。

スレスレのサービスはネットへ切れ

相手のサービスがネットへギリギリにはいってきたときには、プッシュ・ミスの危険が高くなります。無理に打ってでてミスをすれば、それだけで相手にポイントを与えてしまうことになります。

こういう場合は、プッシュすると見せかけて、瞬間的にネットへ切り、球を上げさせるのです。

このテクニックは、ひとつ間違うとたちまち相手の前衛にたたかれる危険をはらんでいますから、十分な注意が必要です。

ゆっくり逃げることも必要

プッシュもできず、また相手が目の前にいて、ネットへ切ることもできない場合は、ゆっくりでよいから、バックバウンダリー・ラインへ逃げ、二人でサイド・バイ・サイドの陣型をとって守ることです。

また、前衛と後衛の間へ中間ボールを使うことも一つの戦法です。

以上のように、サービスを受ける側としては、三つのことを頭においてプレーすることが望ましいのです。

プッシュができなければネットへ切る、それもダメならあわてず落ち着いて逃げ、体勢をたてなおすのです。

瞬間的な判断を要するプレーですから、練習においては、必ずプッシュでサービスをつぶすのだという気持でプレーすることが絶体に必要です。

それでは次に、サービスをする側に回ったらどうしたらよいかです。

どこへきても取るつもりで

プッシュされた場合から考えてみましょう。

サーバーは、ボディにくる球だけに注意し、後衛は、サイド、ボディ、どこへきても取る気持でいなければなりません。当然守備範囲も広くなりますから、集中力をもってレシーブすることが欠かせません。

そして、プッシュされた球を安易に上げてしまってはなんにもなりません。

中間ボールで逃げるか、ネットへ落とすかであり、最悪の場合はバックバウンダリー・ラインへ奥深く返すことです。

ネットへきたらたたけ

サーバーは、ネットへ切られた球を処理するには、まずたたくことを頭に入れておくべきです。そして、もしたたけない場合は、もう一度ネットへ切り返すことです。

しかし、このこともやはりひとつ間違うと、相手に絶好のチャンスボールとなってしまいますから、慎重なプレーが要求されます。

ネットへ切られた場合も、相手の球がネットから浮くことな

●連載

体当たり

ダブルスの実戦

●*Ippei Kojima*

く、前衛に立ちはだかっていてプッシュすることもネットへ切り返すこともできない場合は、中間ボールで逃げるか、相手の奥深く返して体勢をたてなおします。

中途半端な球は絶対に上げてはいけないのです。

上がったらもちろんスマッシュ

相手のレシーブがバックバウンダリー・ラインへ上がってきたら、自分たちのサービスにうまくはいったということですから、思い切ってスマッシュを打ち込むことです。

以上が、基本的なことですから、これらを念頭においてプレーしてください。

ショート・サービスがうまければすべてよし

さて、ダブルスにおいて非常に重要なウエイトをもつショート・サービスについて少し。

よくショート・サービスが安定しているときは、何もかもうまくいくといいますが、実際にこのことばは当たっているようです。

というのは、ショート・サービスがよくはいるということは、それだけ自分が落ちついて自信をもってプレーしているということの証拠なのです。

相手をのんで自分のペースでプレーをしていることのひとつのあらわれともいえるでしょう。

そして、多くのダブルスの名選手は、サービスが非常にうまく、このことひとつを考えてもダブルスにおいてサービスがいかに重要かがわかると思います。

ロング・サービスは見破られぬことが大切

次はロング・サービス（ドライブ・サービス）です。ロング・サービスは常にショート・サービスと見せかけて行なうことが必要で、みすみすわかってしまうようでは簡単に打ち込まれてしまいます。

いつも同じフォームから違った種類のサービスができるように心がけるべきです。

そして、このロング・サービスは、相手が疲れた時などには、非常に効果的です。

ダブルスのだいご味

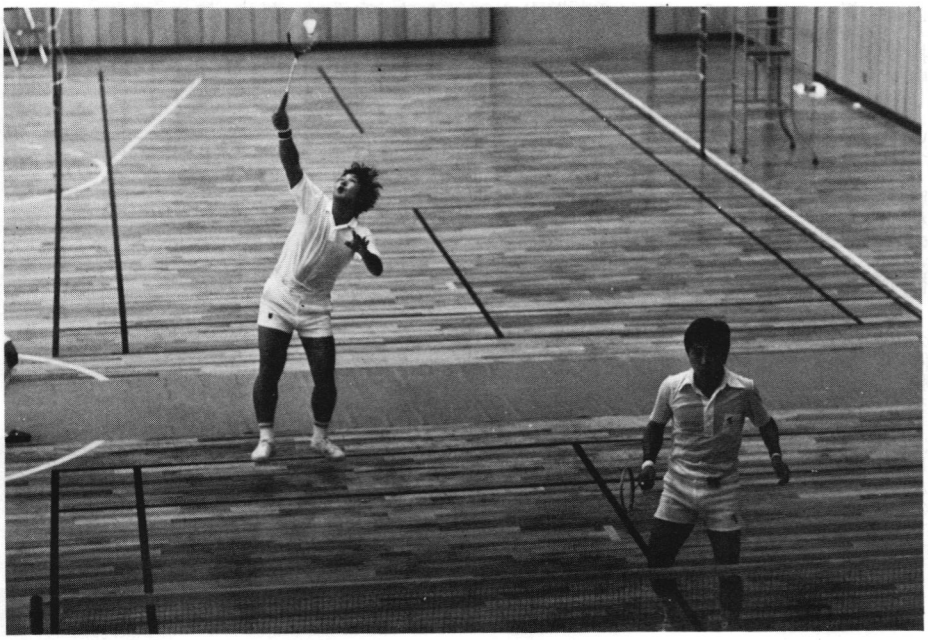
ダブルスのおもしろ味は、攻撃、防御がめまぐるしく変化し、スピーディな動きと、速いストロークです。

スマッシュ攻撃に対しても、レシーブ側はできるかぎり素早く返球することが必要です。

というのは、スマッシュのリターンが速ければ速いほど、スマッシュしているものも苦しくなってくるからです。

最後に球を上げさせるということと逆に、自分たちは簡単に上げないことが大切です。

そして、ひとたび攻撃を始めたら、単発に終わることなく何発も連続してスマッシュができるように練習で打ち込みをすることが絶対に欠かせません。



●連載

私の歩んできた道

前回は、バドミントンの選手生活の最後にしようと思っていた大会で優勝してしまい、それがきっかけでもう一度やってみようということになり、全英選手権のダブルスで湯木さんと組んで優勝したことまでを書きましたが、その翌年、一九七二年のことをふり返ってみたいと思います。

グラスゴーで ツェドベリに勝つ

一九七二年のヨーロッパ遠征のスタートは必ずしも快調とはいえませんでした。この年は、ユーバー杯の防衛戦が控えていましたので重要な年だったのですが、まず最初のデンマーク選手権で、私はエバ・ツェドベリに決勝であっさりと負けてしまいました。出足でまずつまずいてしまったわけです。

ところが、全英選手権の前にイギリスのグラスゴーで行なわれた招待大会の決勝で再びエバと顔を合わせたのです。

この試合で私は、足に大きなマメを作ってしまい、走るのが非常につらかったのです。体質的にマメのできやすかった私は、この時もかなり深くしてしまい大変でした。しかし、エバと対戦したときは、デンマークでの借りを返したかったし、決勝でもあったので、足の痛さを忘れて試合をしました。

その結果、1－1のあとのファイナルゲームは10－2と、大きくリードをしてマッチポイントをにぎり、優勝は目の前でした。ところが、そこからの一本が取れなくなったのです。たった一本をとれずに苦しんでいるうちにエバはジリジリと追ってきます。

焦れば焦るほどうまくいかなくなり、とうとう10オールのセッティングとなってしまう苦戦でした。セッティングにはいっても相変わらずの接戦で1本の差でようやく優勝したような内容でした。

このグラスゴー大会では、私はダブルスしか優勝したことがなく、このエバに勝って初優勝したことは、大変に嬉しいことでした。

前年の経験を薬に

このグラスゴー大会のあと、全英選手権の直前にイギリスとの対抗試合があったのですが、足の不調もあって、あえてシングルスは休ませてもらいました。

前の年、ここで全力をつくした結果、次の全英選手権で負傷をするということになってしまったので、その経験を生かし、体を休めることにしたのです。

それでよかったのだと思いますが、全英選手権では、体も軽くなり、順調に勝ち進み、いよいよ決勝になりました。

その相手は湯木さん……。

ついに全英の決勝へ 相手は湯木選手!!

決勝では、湯木さんも快調でしたが、第一ゲームは私が、たしか5、6本だったと思いますが先取することができました。

ところが、第二ゲームにはいると湯木さんは俄然調子を上げてきて、彼女本来のペースをつかみ、1－1のファイナルゲームとなりました。

そしてファイナルゲームにはいっても湯木さんはつねに私より一歩前を行ってしまい、私は苦しいゲームを強いられてしまいました。

ポイントはいよいよ3－7となったのです。

3－7…… とうとう優勝は だめか

第三ゲームで3－7と引き離されたとき、私は心の中で、「まだだめだったか。今まで何回も挑戦し、いつも勝利の女神に見放され、くやし涙に終わった全英選手権は、また勝てないのか。自分はもういつまでプレーできるかわからないし、もう二度とチャンスはめぐってこないかも知れないな……」と考えました。

すると、妙に気が休まり、どうせだめなら、ここでひとつ思い切って動いて、全力を出し切ってみようという気になってきました。

奇跡の逆転へ

そして3－7でサービス権が回ってきたときに、思い切ってドライブ・サービスをやってみました。すると湯木さんはびっくりしたのかミスをしたのです。そして4－7。私はもう一度続けてドライブ・サービスをしてみました。またポイント……。

こうなってくるとわずかですが光がさし込んできたのです。もうだめだと優勝をあきらめたのに、せり合ってくるうちに、負けてもともとやるだけやってみようという気もちになり、かえって冷静なプレーができるようになってきたのです。

その結果、10－8と逆転することができ、何回かのサービスのやりとりのあと、ついに宿願の優勝を手にしたのです。

優勝、うれしい のひとこと

何回もユメを破られた全英選手権で、とうとう優勝すること

〈第六回〉

栄光の全英選手権に優勝

●中山紀子

ができたのです。

このときの気もちは、ただうれしいとしかいえません。

私は一九六七年からずっと優勝をかけて出場してきたわけですから、その喜びはひとしおでした。このことは、地元のイギリスの人たちも知っていて、優勝が決まると、かけよってきてくれて、「おめでとう、長い間の苦労が報われたね」「よかったよかった、これはフロックじゃない、おめでとう」といってくれました。

毎年敗れるたびに慰めてくれた人々が一緒に喜んでくれたのです。

あこがれのメインテーブルに

全英選手権がすべて終った夜、開かれた恒例のレセプションに私はついに、あこがれの夢にまで見たメインテーブルに座ることができたのです。

このときは、ことばではとてもいい表わせないほど、感激してしまいました。

私の隣りには、インドネシアのルディ・ハルトノがシングルスで優勝して座っていたのですが、ルディにソネビル会長がさかんに、「ミセス中山は、3−7とミス湯木にリードされ、体は完全に疲れきっていたはずだ。そして精神的にもきっとまいっていたはずだ。それなのにまだ気力も体力も十分に残っていた若いミス湯木にどうして逆転できたと思うか」と、さかんに話しかけていました。

それを聞いて私自身、「よくあそこから逆転することができたなあ」と不思議でした。

神様が味方してくれたのか

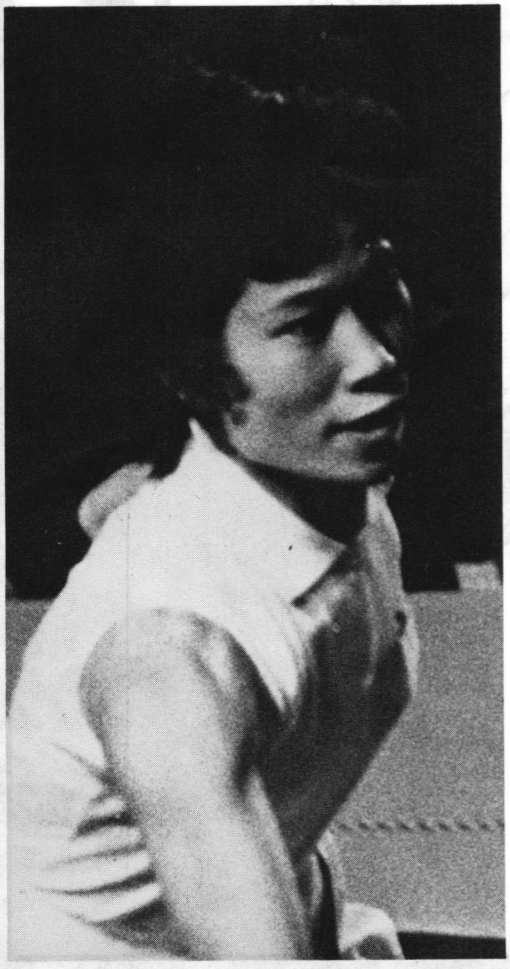
きっと毎年負けてばかりいたので神さまが可哀そうに思って味方してくれたのでしょう。

一度はバドミントンをやめようと思ってから一年余り、その間、結婚をし、生活環境も変わったのですが、こうして、優勝をすると、いろいろなことが思い出されて、感無量でした。

ずいぶん苦しくて長い道でしたが、ついに全英選手権のタイトルをつかむことができた自分は何と幸せ者だろうと思いました。

それと同時に、勝負のもつきびしさをあらためて感じました。日本から一緒に遠征にきて、寝起きを共にし、一緒に会場へ行き、ダブルスを組んで、一緒にホテルに帰ってきた湯木さんと翌日、一緒にでかけていき、決勝で対戦しなければならなかったのですから。

同じ国の、しかもダブルスのパートナーと一つのタイトルをかけて戦うわけですから。ヨーロッパにまでかけてきて一人は優勝し、一人は二位に甘んじなければならないこのスポーツのもつきびしさと非情さをしみじみと感じました。





カアルトン ニュートーナメント は水鳥？

ナイロンを感じさせないナイロン。

新開発された、カアルトン〝ニュートーナメント〟シャトルは、ナイロンと云うよりも英国製高級水鳥シャトルに最も類似した性能を備えた、新しいシャトルです。



ニュートーナメントの特徴

●打球音が変った●ラケットから離れる感じが変った●ネットでのターンノーバ（回転）が変った●スピン●シャトルに対する視覚度（よく見える）がよくなった●飛翔のときの一貫した安定性が増加された。

メトロレジャー株式会社

東京都千代田区外神田5-6-4 TEL. 833-3661（代）

“デンマーク選手権から”

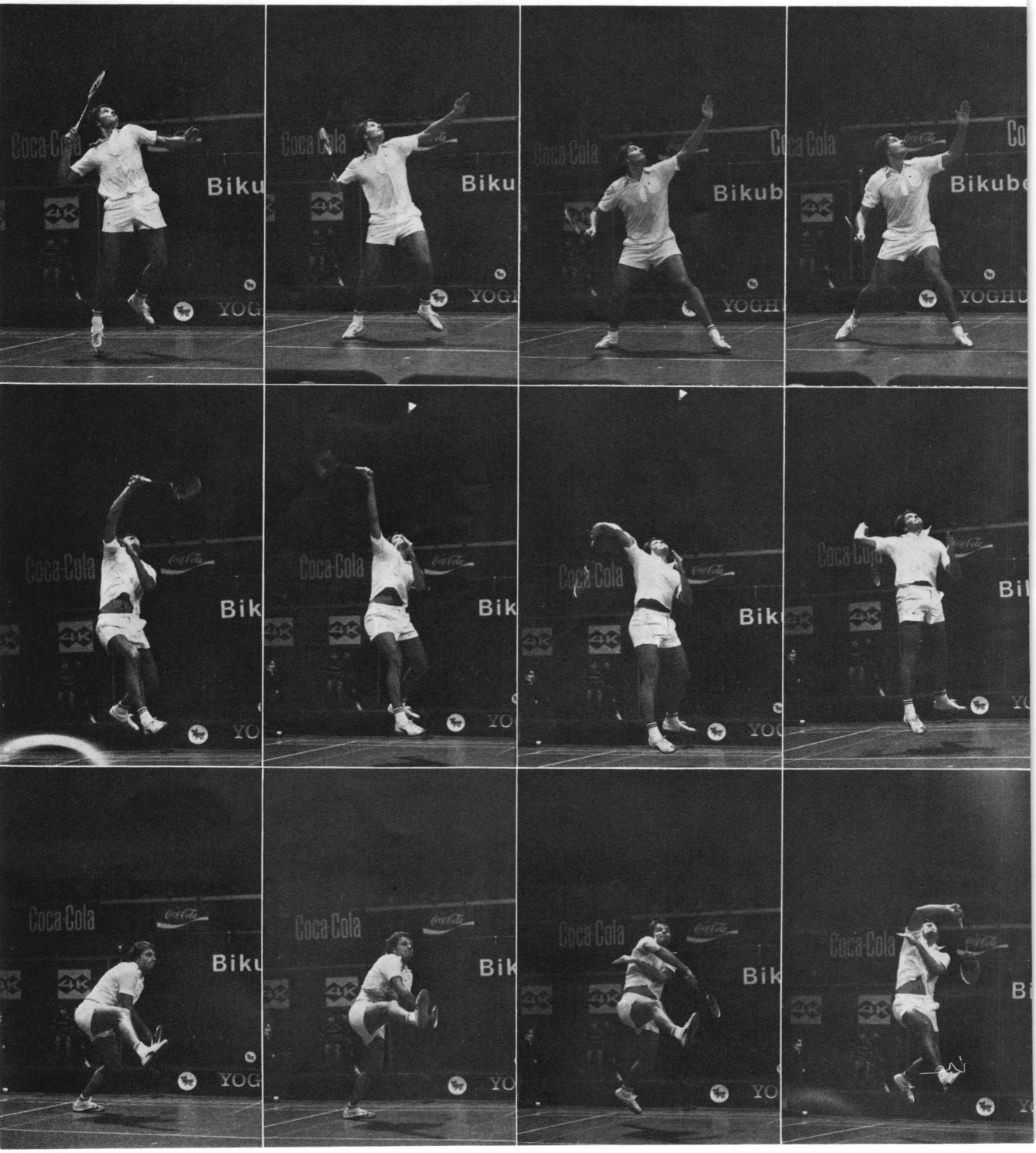
目で見る技術講座①

――フレミング・デルフス（デンマーク）のスマッシュ――

〝ジャンボ〟デルフスがさらにジャンプして放つ豪快なスマッシュ。やはり男子選手が最上段からたたきつけるスマッシュには迫力がある。時速二百キロを超えるこのスマッシュは、すばやく落下点に達し（②）、十分に態勢をととのえて（④）、コートを蹴って一気にジャンプし（⑤）、全力で振りおろすと同時にスナップをきかせ、体のひねりも加える（⑧、⑨）。

しかし、決してバランスを失わず（⑩）、すぐに前進体勢へとはいる。

スマッシュを打つということが、いかに足、腰、腹筋を駆使しているかが、よくわかるすばらしい連続写真といえます。



目で見る技術講座②

――リーン・コーペン（デンマーク）のラウンドーザ・ヘッドストローク――

リーン・コーペンは毎試合ごとに着実に力をつけているデンマークの若手選手で、技術的にすぐれていると同時に、精神的にもねばりづよい意志と、たくましい闘志をもっており、必ず世界的プレーヤーになると思われます。

このバック側にきたシャトルに対するラウンド・ザ・ヘッド・ストロークはウエスタン気味のグリップから、力強いリターンをしたときのもので、スナップはさほどきいていませんが、腕全体で押し出すように打っています。

⑥のジャンプから⑧、⑨の補球の瞬間までのフォームからは、コーペンのカンのよさが想像されます。

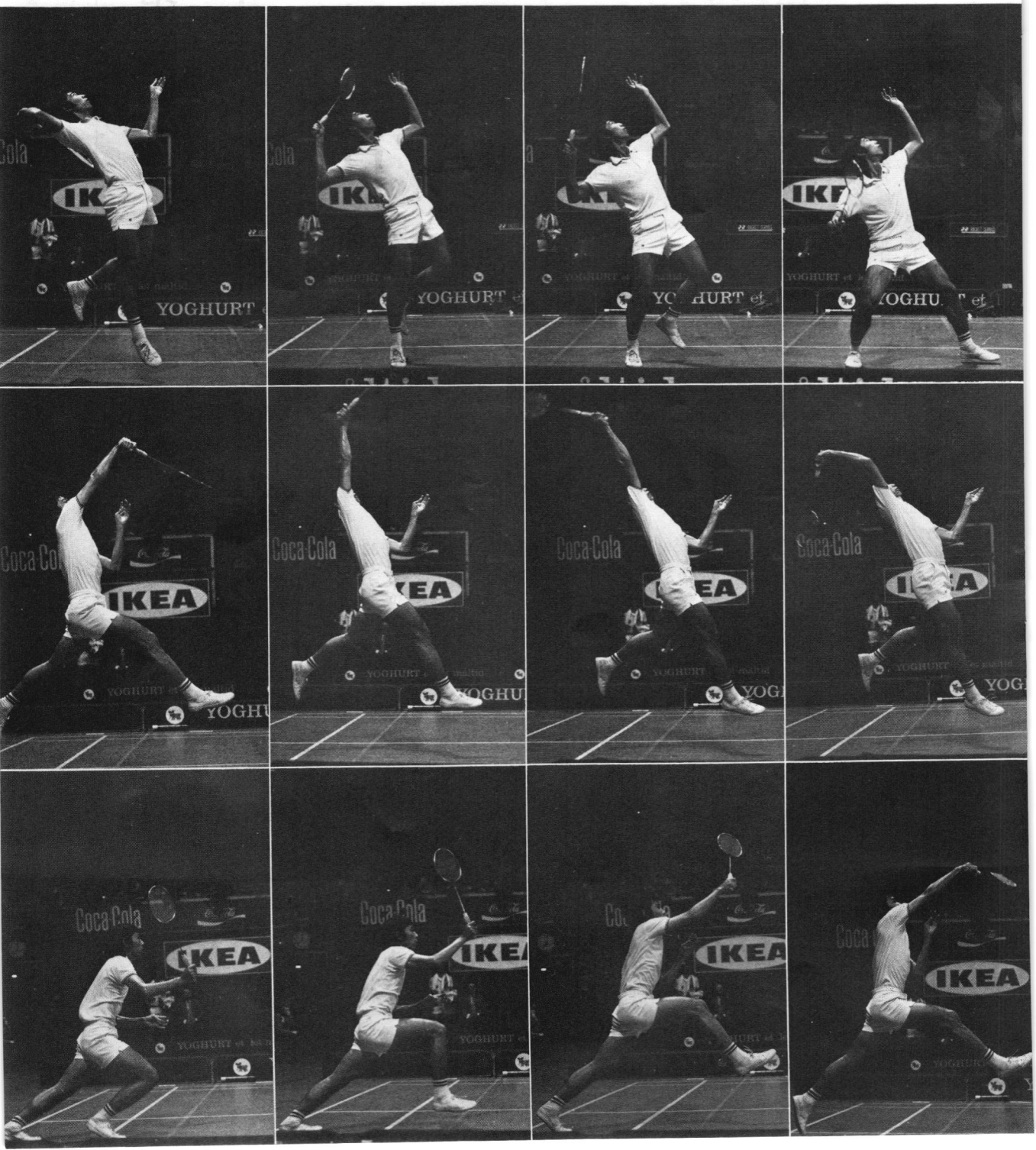


目で見る技術講座③

チュンチュン(インドネシア)のハイクリアー

チュンチュンはワジュディとペアを組んだダブルスで、現在全英選手権をはじめ無敵を誇っていますが、そのシングルスでも非凡なものをみせています。④で正確に落下点に達し、⑦でクリーンヒット(ラケットの部分が写っていないのが非常に惜しいのですが)。このバランスのとれた美しいフォームをよく見てください。

⑧ではスナップを十分にきかせているようすがよくわかると思います。フォロースルーも小さく(⑩、⑪)、すぐに次の補球動作にうっています(⑫)。



連載●第五回

ビギナーへの手紙

ある練習日誌から

■羽戸民敦

記録の大切さ

テストや勉強の、又読書のといろいろなプランがその通り実行できない。よく経験するところです。「計画あって実行なし」「形あって心入らず」よく言われる言葉。小島一平氏が本誌55号（七四・五月）で述べられているように、「練習の方法は二の次で、常にきびしい雰囲気の中で真剣に取り組む精神的な面が重要」ということは、初心者にとっても忘れてはならないことでしょう。どんな場合でも、ただまん然と遊び同様に練習することは、百害あって一利なし、そんな気持がしないでもありません。

個人個人の進歩の為には、私は個人練習ノートをすすめています。それには、自己の練習で特に注意した点、先輩からの指導、それに伴う反省、ゲームやマラソンの記録、又一流プレイヤーのゲームの感想等書き込みます。又、チームとしての部日誌（活動記録）をつけることは一日の練習を反省し、実のあるものとするために、なくてはならぬものでしょう。

国鉄京浜東北線・石川町駅そばの専門店、ラケットショップ元町には、多感な高校生・小島一平青年のアルバムが置かれています。そこには、中学生時代優勝の機会の得られなかった氏の試合にかけた闘魂が、少し色あせた写真のわきに書き込まれた一行、二行の短い文に、にじみ出ているのです。バドを愛する者の見逃すことのできない生きた教材がそこにあるのではないでしょうか。

ある部の活動は

今回は、ある中学校のクラブの日誌を中心に、練習の経過、内容を紹介してみようと思います。読者はこれを一つのサンプルとして、より一層、チームの活動が充実されるよう努力して欲しいと思います。日誌の形は32頁のようなわく組、欄外には月間単位ぐらいで目標を書き込むようにしています。記入者は主に二、三年生です。この中学校、いやこの部が日誌をつけてから、まだ二年とはたっていません。その短い間でも、係の生徒の怠けで印刷が間に合わず、当番が自分のレポート用紙に全部線を引いて書いた日もあります。又欠けている日もあるのです。しかしその記録をめくってみると、寒い冬の日の朝練の様子、真夏の炎天下、走り抜いたマラソンの一人一人の記録から、一日一日の活動が昨日のように思い出されるのです。

一年生の初めての練習

一週間の練習日程は後で述べることにして、年間を通した学習、活動、練習の順序、ポイントを表でまとめてみました。

31頁の表は入部後約一ヶ月、（入部した日はまちまちですが）一年生自身が作った一時間のメニューです。

順序はこの通りではありませんが。

1 柔軟運動（前、左、右）男子各50回、女子各40回

2 腹筋・背筋、各男子50回、女子40回

3 うで立て男子10、女子5、（これはどうも少ないようですね）

4 ランニング一周約80mの体育館を十二分でできるだけ多くまわる。

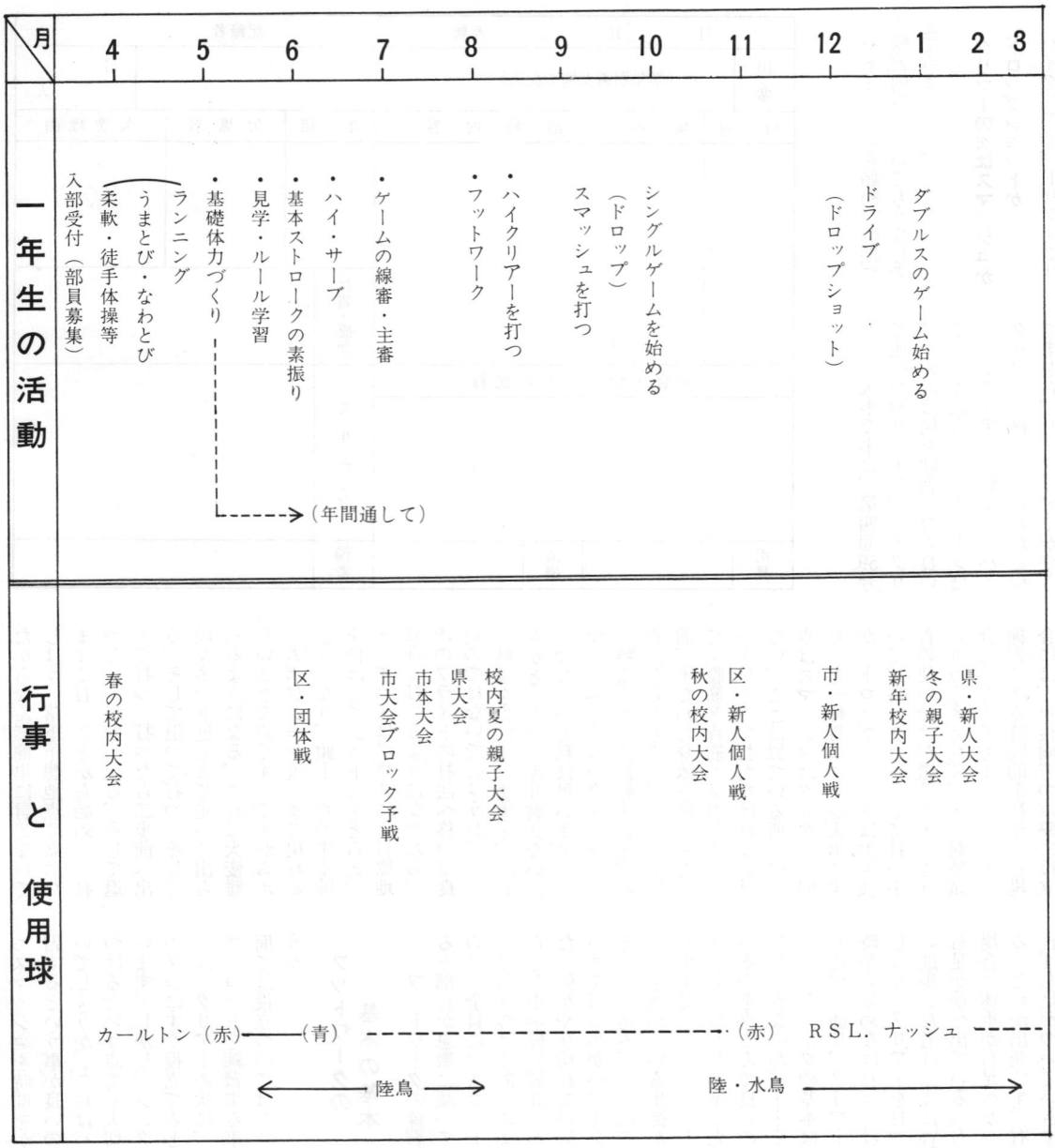
5 なわとび男子500回、女子400回、それに二重とびを何分か。

6 うまとび 5分間。

二、三年生のマラソン・イン

その中からいくつかの点について記してみましょう。

入部した一年生、体力づくりから始めます。バレーボールには身長が足りない、テニスではラケットが重すぎる、バドミントンなら何とかという女の子、野球、サッカー、バレー、バスケ、陸上はどうもどうも、女の子のやるハネツキ位ならというデモ・シカ部員（勿論、金の卵なんですが）まず何といっても体力づくりです。



ターバル・トレーニング、なわとびの記録はあとで紹介することにして、一年生最初の記録はどんなものでしょうか。この部では、全員が一緒に何周とか、何kmとか決めずに、その生徒の体力、目的に合った練習量を考え、その中で自己のベストを尽すよう指導しています。記録を拾ってみましょう。

十二分間で一年男子

5月初め）2200～2800m

6月初め）2400～2900m

同　一年女子

5月初め）2100～2200m

6月初め）2200～2600m

と記録が伸びています。楽しいことです。

六月中旬になればラケットを持つことを許されます。オーバーヘッド・ストロークの素振りも始まりますが、その間げきをぬって、正しいグリップを身体で憶えるという意味で、床に座って向かいあい、椅子をネット代りにヘアピン（?）のまねごともします。ルールの学習も大切です。日本バドミントン協会発行のルールブックによる上級生の指導、七月末にはシングルス、ダブルスの主審ができるようになれば、一年生も立派な部員、なくてはならぬ一人前です。

月　日（　）天候（　）記録者						
出席	（学年別男女別で記入）					計　人
時間	場所	活動内容	年組	欠席者	欠席理由	
			反省・感想			
試合・マラソンの記録			先生から			
用具		清掃		備考		

バドミントンを始めた時期での練習内容についてもう少し考えてみましょう。

クリアーの次はスマッシュかドロップショットか

ハイクリアー、ドリブンクリヤーの大事な事は、第四回59号で述べた通りですが、ハイクリアーの次は何を練習したら良いでしょうか。バドミントンは「ハイクリアーで始まり、ハイクリアーで終る」と言われる程ですから、ハイクリアーができたからなんて簡単に言えないでしょう。落下予想地点に立ったままで打つことから始めて、打ったら一歩前へ出る、そして退って打つ。打ったら二歩前へ出る、そして退って打つ。そして、段々ネット近くまで走って出られるようになる、これは大変難しいことなのです。ですからホームポジション近くまで戻れるようになり、頭上に真っすぐ腕を伸ばしてシャトルをとらえ、まっすぐ又はクロスに、目標地点近く打てるようになったら、次のフライトの打法へ移って良いのではないでしょうか。

結論を先に述べますと、どちらがどうとハッキリ言えないんじゃないかと私は思います。スマッシュとドロップ・ショットの特徴を簡単に比較すると、打点はどちらもクリアーより少し前、すなわち身体を後へそらして（腹筋と背筋）、又引いて（フットワーク）打たなければいけない、ここは似ている所。違う点はスマッシュはクリアーと同じく力一杯打つことが大事ですが、ドロップショットは力を抜いて、時たまカットして打つ手首の使い分けが微妙です。こういう点を考えれば、すぐ対外試合に出なくてもよい、じっくり練習できる時間的余裕がある場合には、単複両方の攻撃に役立つスマッシュを時間をかけて練習するという事が良いのではないでしょうか。これはパワーをつけるという点でも大切だと思います。しかし、シングルス等の試合にすぐ役立てるという点では、クリアーの次に、ドロップショットを練習する事が実戦面では役立つのではないでしょうか。

フットワークの基本の基本

「フットワークの練習を始めると部員が急激に減ってしまうので、全員に、スコートを買わして引きつけて置くのよ」ともらした中学校の顧問がありました。何かやり切れない気持です。ハネを打つ事がバドミントンだ、そう思い込み、又それのみに楽しみを求めている生徒がいる事も事実です。バドミントンのラケットがおもちゃ屋で売られているのを喜こんで良いのやら悲しむべきなのか。……

フットワークの基本は、先程も述べた通り、クリアーを打つ時から始めなければいけないでしょう。クリアーを打った時、（進歩した者は、すでに打つ時）右足が前へ出ている（右利きの場合）体重が右足へかかっている。これが出発です。右足が出れば左足がついていきます。

素振りをする時でも、いつも右足を一歩前へ出す、これを身体で憶えるとしめたものです。シングルスゲームをやり始める頃には自然とホームポジションに戻ることができる、そういう習慣を早くつけたいものです。

いろいろな馬飛び

自己の目標を持ち、それに挑戦する厳しい態度と平行して、初心者には、楽しみながらも身体をきたえる、いわばレク的要素を持った練習も大事だと思います。他のスポーツと同様、下半身の鍛練は欠く事はできません。その意味で、なわ飛びと馬飛びは最も親しみ易い運動でしょう。この中学校で行っている馬飛びのいくつかの例を紹介しましょう。

①連続飛び、馬二〇～三〇匹（人）位は続けて飛べるバネは欲しいですね。かかとはどんな時も着地しないように。
②二人一組の連続飛び
③二人一組で往復馬飛びくり返えし。

③二人一組で、上記三種は、20～30秒で交代して、全員（二人又は三人、四人、五人一組でもできる）が何往復したか合計して競走すると楽し

い。

④二匹の馬を二人が飛びながら、ぐるぐるまわる形で追いかけっこをする。二〇秒位すると、判定で勝負がきまる。

二、三年生の一日の内容

基本のストロークのいくつかが少しずつできるようになった二、三年生は、ミーティングで練習の内容を四つのグループに分けました。

Ⓐ サーキット。インターバルトレーニング。柔軟。縄飛び等。
Ⓑ 素振り。フット・ワーク。
Ⓒ クリアー、スマッシュ等基本ストローク。
Ⓓ実戦練習

次に、時間配分を時期に応じて按配し、一日一日の内容はそれにそって部長が細かく検討し実施しています。

さあ、負けないで

ある中学校の部日誌を中心に、その練習のいくつかの面を述べてみました。練習の仕方、内容はこれが一番良いというものは決定できないと思います。その人、その段階、時期にとって、最良のもの　やはり自分で、自分たちで見出していかなければいけないと思います。要は、その時の気力、心が、その練習をより一層あなたにプラスするのではないでしょうか。皆さんの一つの目標を作る手助けと思っていくつかのデータを記してみたいと思います。（これはその時期、学年のほぼ平均的記録です）

◇二重なわ飛び
入部後約三週間の一年生
男子20～50回　女子5～10回

◇40cmの高さのなわの反復飛び
三年生（4月）
30秒間で20～23回

◇普通のなわ飛び（二分間）
入部したての一年生
男　200回　女　210～280回
二週間後
男　240～320　女　270～300

◇普通のなわ飛び（三分間）
一年（右と違う年度）二月初
男　540　女　480
二年（男子は入部して一月半）
男　510　女　580

◇ランニング（一年）
六月　男13km 55分
　　女7km 27分
一月下旬　20分間で
男6km　女4.6km

◇ランニング（二年）
九月下旬　10分半で
男3km　女2.6km
二月中旬
男5km　19～20分
女4km　18分半





水鳥 検定合格球
ファストゴールド
ファストシルバー
全国大会使用球
ファスト印シャトル
コック　製造発売元
有限会社　ジャワ商会
山形市六日町7の28
電話0236(33)0333(代表)

第一回京都家庭婦人オープン大会なごやかに開催

●京都府バドミントン協会　市村　修

去る8月18日、当協会主催による第一回京都・家庭婦人オープンバドミントン大会には、各地から多数の参加を得て、酷暑の中熱戦を展開し、和気あいあいなごやかなうちに盛会に終えることができました。

主催者として、本大会のためご協力たまわりました各位殿と、参加して頂きました選手各位にここに厚く御礼申し上げます。大会中は、何分不行届きの点あり失礼いたしましたが、あしからずお許し下さい。

本大会は、家庭婦人のバドミントン熱にこたえ、京都近県の方々を勧誘し、バドミントンを通じ、家庭婦人の健康維持につとめるとともに

(1)京都家庭婦人の活動の場を広く求める。

(2)旧交をあたためる場

(3)新しいまじわりの場

とするべく、今後年に一度開催してゆきたく思いますので、よろしくお願い申し上げます。

一部リーグ、東京湯島クラブの優勝は技倆、若さから順当であったが、舞鶴の健闘もめだった。オーダーが異なっていれば違った結果がでたのではないかとも思われた。

西宮、愛知、ドリブン、西華は実力的に大差はないが、若さの差が結果となってあらわれたようである。

二部リーグは、広畑（姫路）チームがよくまとまっており、他を圧し優勝した。京都平安クラブも学生時代の経験者二名を主体に健闘したが及ばず、舞鶴明倫、長岡チームは練習量が多く、よく走っていたのがよい結果となっている。

三部リーグ、舞鶴城南は明倫Bよりも実力上位であり、主催者側の実力判断ミスであったが、三部の各チームはほとんど家庭婦人になってからバドミントンを身につけられた方ばかりで、チームの一勝、自分たちの一勝に他よりも喜び方も大きいように感じられた。

全体として、やはり練習の差が結果に出ているようである。また、以前からやっていた方でも、家庭婦人になって始めた練習量の多い方には太刀打ちできなくなっている。

腕は立っても、足がともなわない状態である。そのもっともよい例が舞鶴の各チームのねばりづよさがそれである。京都市内のチームが不振であったが、今後の健闘を期待する。

暑い時ではあるが、夏休み中が家庭婦人としては参加しやすい時期のようでもある。今後の日取りは涼しい秋にするか、それとも参加しやすい夏にするかを検討する必要があると思われる。また、試合形式としては、一回で敗退するよりは、二、三回以上は試合ができるリーグ戦形式のものを組むよう希望する。

今回は、主催者側でリーグ分けをしたこと、および予算的なことから賞品や参加賞は準備しなかったが、次回からは、年齢差も考えた組合せをすることと併せて考慮したい。



各地から参集した選手のせいぞろい

〔試合結果〕

〈1部リーグ〉

Aゾーン・1位＝杉並湯島クラブ（2勝）、2位＝西宮友の会（1勝1敗）、3位＝ドリブンクラブ（2敗）

Bゾーン・1位＝舞鶴FBクラブ（2勝）、2位＝愛知県体女性クラブ（1勝1敗）、3位＝西華クラブA（2敗）

●決定戦

杉並湯島　2―1　舞鶴FBク

西宮友の会　1―2　愛知県体クドリブンク　2―0　西華クA

〈2部リーグ〉

Aゾーン・1位＝広畑クラブ（2勝）、2位＝舞鶴明倫クラブA（1勝1敗）、3位＝平安クラブ（2敗）

Bゾーン・1位＝長岡クラブA（2勝）、2位＝舞鶴明倫クラブB（1勝1敗）、3位＝西華クラブB（2敗）

●決定戦

広畑クラブ　3―0　長岡クラブA

舞鶴明倫A　3―0　舞鶴明倫B

平安クラブ　0―3　西華クラブB

〈3部リーグ〉

Aゾーン・1位＝舞鶴城南（3勝）、2位＝高嶺クラブ（1勝2敗）、3位＝守口クラブ（1勝2敗）、4位＝向陽クラブ（1勝2敗）

Bゾーン・1位＝長岡クラブB（2勝）、2位＝シオンクラブ（1勝1敗）、3位＝豊中友の会（2敗）

●決定戦

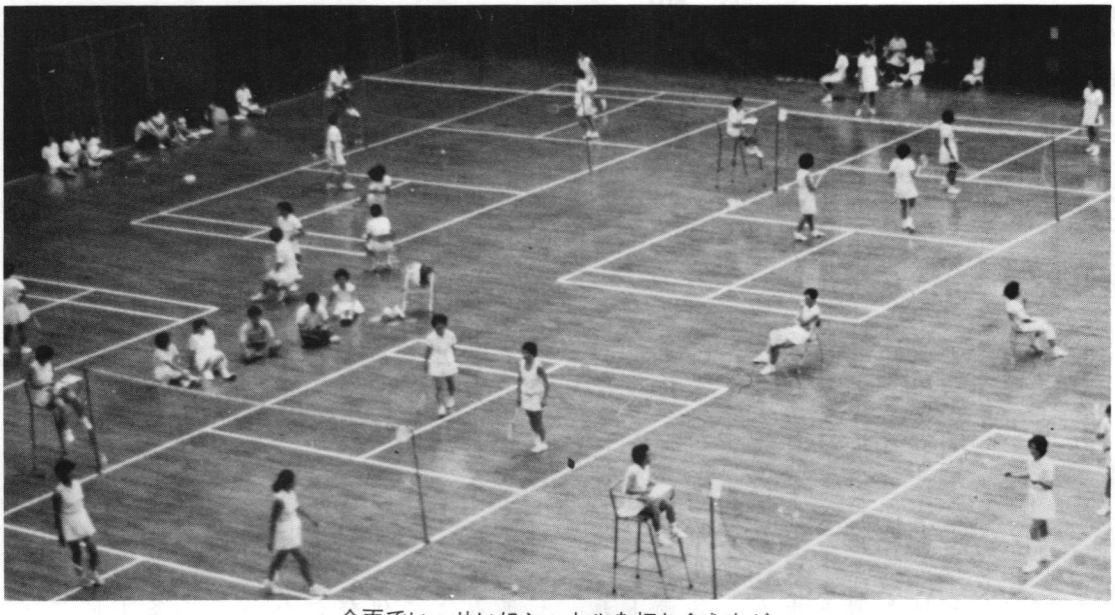
舞鶴城南　3―0　長岡クラブB

高嶺クラブ　2―1　シオンクラブ

守口クラブ　2―1　豊中友の会



試合開始直前の緊張の一瞬



全面でいっせいにシャトルを打ち合う音が

まだ後輩ニャ 負けられない

まだまだ後輩には負けられん―県内の高校バドミントンOBたちが集まってこの程、県高校OB対抗バドミントン大会（福井新聞社後援）が開かれた。高校を卒業して以来、十年以上もラケットから離れていた人やママさん選手も参加し、ラケットを振ってハッスルした。

バドミントンの普及とスポーツを通じて親ぼくを深めることを目的に、先ごろ県内では初めてのケースである県高校バドミントン競技OB連盟（山本敏彦会長、会員約千人）が結成された。その第一回大会に藤島、高志、敦賀など八校のOB約百三十人が参加した。

競技は学校対抗で進められ、各選手とも母校の名誉にかけて？　力いっぱいのプレーを繰り広げた。この結果、男子は藤島OB、女子は福商OBがそれぞれ優勝。新調されたピカピカの優勝カップを手にした。

選手の間には高校時代のライバルやインタハイなどに出場して顔なじみになっている人も多く、久し振りの再会に高校時代の思い出話に花を咲かせる光景も見られた。また、後輩の高校生が応援に駆けつけたり「お父ちゃん、お母ちゃんがんばれ」と声援を送る幼児もおり、会場はOB大会らしい和やかなムードでいっぱい。

同連盟は今後、さらに輪を広げていく計画で、将来は県内全校のOBを勧誘したいという。大会も毎年定期的に行い、来年からは年齢別制を設けて幅広く参加出来るようにする方針。このほか、OBと高校選手の交歓試合や後輩を集めて講習会を開くことも計画している。

山本会長は「楽しそうにプレーしている姿を見ていると、大会を開いて本当によかったと思う。まだまだ後輩には負けられん。私たちの活動が活発になれば、県内のバドミントンの普及や後輩の技術向上にもつながるのでは…」と期待をかけている。

（福井新聞8・30）

小学生から女性まで広がる

敦賀市正田の愛発中学校体育館で、毎週木曜日の夜になると、小学生から一般の男女がそろってバドミントンに汗を流している。

これは、愛発体育協会が中心となり、スポーツを通じ、体力づくりと親ぼくを図ろうと、年齢層に制限されず、だれでも取り組めるものとして、ことし七月から始めているスポーツ教室。

スタートしたときは、ほとんどの人が球を打ち返すのがやっとだったが、愛発公民館の坂本幸夫主事（二六）の指導で約一ヵ月半、練習を重ねた結果、試合が出来るまでに上達した。参加者も初め十四、五人だったのが、次第に増えて多い時には二十五人が一緒にバドミントンを楽しむようになった。特に、最近は女性も参加するようになり、体力づくりと親ぼくの輪は次第に広まってきた。

このところ、基本練習を短くして、ダブルスでの試合が中心で、十月予定されている市民体育大会のバドミントン種目参加へ意欲を燃やしている。指導に当たっている坂本さんは「せめて週一回ぐらい運動をして汗を流すのは、健康上、非常によい。また、和気あいあいとしたムードのなかでバドミントンを楽しめるということは、地域づくりにも役立つのではないでしょうか」と話している。

そんな中にも悩みがある。体育館が小さく、コートが一面しか取れないのと、天井が低いため、大きなサーブを出すことが出来ない。

（中日新聞8・27）

おしどり夫婦大活躍 〝二人で国体出場がユメ〟

〝若人の祭典〟第二十七回県総合体育大会は連日、会津若松市を中心に白熱した試合を展開しているが、バドミントンとテニスに二組の〝おしどり〟夫婦が大活躍し話題をさらっている。

バドミントンのカップルはシングルス、ダブルスにそろって優勝したいわき市平北神谷字御代一四、磐女教諭永井祥一選手（三二）香代子選手（二二）。テニスは伊達郡月舘町大字月舘字久保田四、霊山町立石田小教諭梅津和男選手（二六）と月舘町立小手小教諭文子選手（二七）のカップル。ともにスポーツがとりもつ縁で結ばれたが、結婚後も二人で〝名物夫婦〟として知られている。

バドミントンの祥一選手は教員シングルスに十年連続優勝の快挙、また同ダブルスでも五年連続優勝した。奥さんの香代子選手も一般女子シングルスに二年ぶり二回目の優勝をとげ、同ダブルスでも二年連続優勝。夫婦そろって来月七日、岩手県釜石市で開かれる東北大会に出場する。

永井選手夫婦は〝師弟関係〟。四十三年四月に平商に入学した香代子さんがバドミントン部の門をたたいたときに同部の監督をしていたのが祥一さん。香代子さんは高校時代、東北大会で個人優勝したり、インタハイに出場するなど華々しい戦歴。香代子さんが高校を卒業し、一年間洋裁学校に通った後、四十七年三月に結婚した。

祥一さんは農家の長男。それだけに香代子さんはバドミントンを続けながら、祥一さんの両親とともに田一五〇アール、畑八〇アールを耕す農家の主婦。

永井さん夫婦の練習場は磐女の体育館。香代子さんも磐女生に指導する祥一さんをコーチとして手助けしそのかたわら練習に励む。練習のときは普段やさしい祥一さんも香代子さんに対して手加減はしない。このことが香代子さんを選手として大成させた。そろって国体に出場するのが夢で〝二世〟はそれまでおあずけとのこと。

（福島民報8・20）

"生活にリズムができます"

昨年九月から十二月までに行われた県のスポーツ教室で丸山綾子さん(四四)ら三十二人のママさんたちがバドミントンコースを終了した。県体育センターの岡山哲郎先生の指導で楽しみながら基本を習った。終了後もその楽しさが忘れられず、県体育館の一般開放の日には必ずメンバーが集まって汗を流すようになり、ことし一月に九人のメンバーでクラブが結成された。そして一月から三月にかけて県スポーツ教室の中級コースが行われ、この終了者の中からも三人が加入した。また本年度に入って五月から七月にかけて行われた初級者コースの終了生から十四人が加入して、メンバーは計二十六人になった。

県のスポーツ教室に来る人たちはほとんどが初心者。第一回終了生三十二人のうち市民体育大会などに出た経験のある人はわずか四人だった。最初は子供たちと羽根つきごっこていどにする人とか、シャトル(バドミントン球技の羽根のついた球)をラケットに当てることさえできない人がほとんど。それでも週一回、十日間のコースを終わるころにはまがりなりにもサーブが打てるようになって、試合ができるようになった。そして中級コースを終わると、試合のさまざまな変化を楽しめるようになって、技術的に意欲がわき「もっとうまくなりたい」と思うようになったらもうやめられない。

また参加者の平均年齢は三十五、六歳で、三十代が圧倒的に多い。この年代は末の子供が小学校にあがって、育児から解放されて、やっと自分の時間が持てるようになる〝年ごろ〟。同時に自分の体力と容姿のおとろえを痛切に感じる年ごろでもある。だから週一回の体育館通いは、主婦の慢性的な運動不足と精神的なストレスを一挙に解消して、生活にリズムを与えるという結構すくめの日課だ。

スポーツ教室三回生で、クラブの〝新米〟である岩崎慶子さん(三八)、広沢由記子さん(三三)たちは、一回生、二回生の〝先輩〟たちを相手に懸命に練習を続けているが、クラブの楽しさを次のように語っていた。

―初めここに来たときは全くの初心者で打ち返すこともできなかったのですよ。それが今では試合ができるようになって…。上手な先輩たちを見ると、早くあんなになりたいと、つい欲が出てきて、練習に夢中になるんです。

―はじめのころ主人が知らない間に見にきていて「なんだ、お前が一番へたじゃないか」といって、特訓をしてくれたんですよ。それからどうやら当たるようになり、サーブでも打てるようになりました。

―週一回の練習は生活にリズムができて最高ね。肩がこらなくなったし、からだが軽くなった。一回休むとからだが重たくなって、ゆううつになるので休みません。

―それに友だちづきあいができて、世間が広くなったみたい。

―練習に出ると三日間は子供をおこらなくなりますね。(笑い)いらいらがなくなるし、身が軽くなるし、それで主人も「行け、行け」といって、家族中ですすめてくれます。

また四十歳代のメンバーは六人いるが、この人たちは次のように話していた。

―私たちの女学生、青春時代というのは戦中であり、また戦後ようやく家が建ち始めるという時代で、とてもスポーツどころではなかったですよね。だから私たちはいわば〝夢よもう一度族〟といっていいのじゃないかしら。

―いまの若いスポーツウーマンたちを見ていると、うらやましいわね。昔はバレーボールなんかしたら―はしたない。嫁にもらい手がなくなりますよ」と親たちはまゆをしかめていた。

―年寄りは一般に女がスポーツをするといえばきらいますね。「もっとほかにすることがありそうなものに…」というんです。洋裁や編み物なんかしていると「感心だ」といわれる。やはりスポーツは遊びだと思って一種の罪悪視しているみたい。

たしかに社会的に見れば、スポーツを恒常的にしている主婦というのは、限られており、いい指導者、いい施設に恵まれたこのグループは、一種のエリートではある。十一月ごろには川内市のスポーツ教室のOGたちと練習試合を行うことにしている。そしてそれを皮切りに県内を転職して回ろうという〝遠大〟な夢もクラブのうちで話し合われている。恵まれた環境の中で、クラブスポーツの楽しさを知った彼女たちは、県内の主婦たちにこの喜びを早く知ってもらいたいという気持ちなのだ。

八月の市民体育大会でみごと優勝をしたことが、彼女たちに技術の面で大きな自信となっている。指導を続けてきた岡山先生は「主婦グループではいまのところ県内最強といえるでしょう。それだけほかにいい主婦グループがないということでしょう。このグループがそういう点でも、県内を転戦することは普及の大きな刺激になるかもしれませんね」と語っていた。

市民体育大会のあと天文館で祝勝パーティーを開いた。優勝したことでチームワークが一段と強くなった。一つ一つ実績を重ねるごとに結果はますます強まる。

クラブのこれからの目標は、まず会を大事にして、続けること。そしてあまりきついバカ練習は避けて、新しい人たちも一緒に、他クラブと交歓試合をやりながら、楽しくおもしろくやっていこう―ということらしい。

主婦のスポーツクラブはごく最近つくられるようになったが、やはり彼女たちはこれからの発展する地域スポーツの先駆者である。近く結成が望まれている鹿児島県婦人体育協会結成への一つの原動力になっていくのかもしれない。

(南日本新聞9・24)



読者と編集者

交歓試合をしたい

六年　清水紀美子

「パシッ。」いい音で、相手のスマッシュが決まる。とうとうマッチポイントだ。

この日は、市民バドミントン大会だ。私にとって初めての市民大会。少女の部に優勝できて、女子二部シングルスに入る。次々と試合は終わり、ついにこの準決勝だ。

相手はAさん。とても強そうな印象を、試合前から感じていた。やはり予想通り、強い。

あと一点で負けだと思うと、ハラハラするやらで、もう自分で何をしているのかわからない。その間に、相手のサーブ。さっと、後にさがり、くいついて打つ。相手のレシーブが左による。やっとの思いで打った、と思うまに、前にポンと落とされた。とうとう一セットをとられてしまった。

「チェンジ・コート。」しんぱんの声がかかる。二セットはちゃくちゃくと進む。くいついて打っても、右に左にと動かされてしまう。ハアハアと息がだんだんあらくなる。もうやめたい。そんな気持がフッとわいて出た。しかしそんな事は言えない。とうとう負けた。だけど、くいのない一戦だったと思う。

バドミントン少年団に入って、早一年たつ。この少年団に入っていたからこそ、こんないい試合ができたのだと思う。これからも、ずっとバドミントンを続けていきたい。そしてこのような、すばらしい試合をもっともっとしていきたいと思う。

いつの日かきっと

長野市に県立の新設高校が今年四月に誕生しました。校舎は今のところ古い建物を借りた仮校舎ですが、来年度からは新校舎に移ります。四月以来各クラブ発足の中で、バドミントン部も六月十日に活動を開始しましたが、仮校舎のため体育館がなく活動の場所に悩まされながら何とか活動を続けております。

来年度の新校舎では八コートを持つ第一体育館に続いて、四コートの第二体育館ができます。また昭和五十一年には、高校総体が長野県で開催されますので、それには何とか参加できるような実力を身につけようと張り切っています。体育館なし、予算なし、経験なしのナイナイづくしの中で何とか工夫しながら努力をしているつもりです。

今後共よろしく御指導の程お願い申し上げます。長野東高校バドミントン部一同（十六名）

交歓試合をしたい

『バドミントン界』の一愛読者として、ペンをとらせていただきます。

〝武生市バドミントンスポーツ少年団〟

これが私達の活動している所です。

現在、団員二十名余りで、いずれも市内の小学生の女子（四、五、六年）ばかりで、毎週金曜日の四時から六時まで、市体育館で練習にはげんでいます。

指導には、市の協会員が二名ついています。日に日に上達していく子供の姿を見るのは、指導者としても頼もしい限りです。

練習会の他、市スポーツ少年団の行事、市民バドミントン大会等に参加していますが、市内に同様なサークルのないのが一つの悩みです。

そこで近辺に同様な少年団またはクラブ等がありましたら交歓試合をしたいと思いますので左記宛、御連絡下さい。

〒915福井県武生市幸町29

高木　諭　宛

なお、一団員の作文を同封します。



社会人選手権ダブルス優勝の池田・尾崎組

■協会通信

木戸が単優勝（宮城）
東海選手権は谷口が制覇

宮城県協会

49年度県バドミントン総合選手権大会と都市対抗選手権大会は、9月1日、仙台市の県スポーツセンターで、約百三十人の選手が参加して開催された。

結果は次のとおり。

▼男子シングルス
1位＝木戸（常盤木教）、2位＝山並（仙商ク）、3位＝足立（仙商高）、森（東北学院大）

▼男子ダブルス
1位＝及川・山並（仙商ク）、2位＝木戸（常盤木教）・渡辺（塩釜ク）、3位＝森・小原（東北学院大）、高橋・大川（東北学院大）

▼女子シングルス
1位＝石垣（尚絅高）、2位＝渡辺（塩釜女高）、3位＝後藤（塩釜ク）、鹿野（尚絅高）

▼女子ダブルス
1位＝高橋（尚絅ク）・松本（塩釜女ク）、2位＝石垣・鹿野（尚絅高）、3位＝渡辺・佐藤（塩釜女高）、及川・沼倉（登米高）

▼都市対抗
1位＝塩釜市、2位＝白石市、3位＝仙台市A、同＝石巻市、5位＝多賀城市、同＝仙台市B、7位＝岩沼市、同＝加美郡

また、9月23日に行なわれた県実業団バドミントン選手権大会の結果は次のとおり。

▼一般男子ダブルス
1位＝北山（仙台自衛隊）、2位＝高橋（七十七銀行）、3位＝佐藤（リコー）、石持（仙台自衛隊）

▼同ダブルス
1位＝高橋・寒河江（七十七銀行）、2位＝佐藤・遠藤（七十七銀行）、3位＝圧子・鈴木（東北石油）、石持・北山（仙台自衛隊）

▼成年ダブルス
1位＝三浦・菊地（東北大職）、2位＝松崎・新田（東洋刃物）、3位＝高橋・鍵谷（東洋刃物）、結城・藤田（仙台動力車）

▼壮年ダブルス
1位＝千葉・高橋（仙台自衛隊）、2位＝名取・米田（電々東北）、3位＝浅沼・佐藤（電々東北）、会田・兼崎（東北大職）

▼女子シングルス
1位＝大友（ソニー仙台）、2位＝坂橋（同）、3位＝大場（同）、佐藤（東北金属）

▼同ダブルス
1位＝大友・板橋（ソニー仙台）、2位＝大場・鈴木（同）

愛知県協会

昭和49年度東海総合バドミントン選手権大会は、9月14、15の両日、刈谷市体育館で開催され、結果は次のとおりでした。

▼男子シングルス
1位＝谷口（愛知）、2位＝平田（三重）、3位＝平松（愛知）、4位＝笠井（静岡）

▼同ダブルス
1位＝森・河田（岐阜）、2位＝松島兄・松島弟（愛知）、3位＝西城・平田（三重）、4位＝笠井・古郡（静岡）

▼女子シングルス
1位＝名和（岐阜）、2位＝日比野（岐阜）、3位＝望月（静岡）、4位＝布上（愛知）

▼同ダブルス
1位＝天野・名和（岐阜）、2位＝宮内・池田（愛知）、3位＝広瀬・多賀（岐阜）、4位＝宝力・追田（愛知）



社会人選手権スコア詳報

第17回全日本社会人バドミントン選手権大会の結果は、本号4ページ以降でお知らせしましたが、詳しいスコアがはいりましたので報告いたします。

▼男子ダブルス決勝

池田・尾崎 2（15−12、15−4）0 河村・今泉

（池田・尾崎組は初優勝）

▼女子ダブルス決勝

湯木・池田 2（13−15、15−3、15−7）1 藤井・能沼

（湯木・池田組は初優勝）

▼男子30歳以上ダブルス決勝

鈴木・吉田 2（15−1、15−8）0 奥村・中田

（鈴木、吉田組は二連勝）

▼男子40歳以上ダブルス決勝

毛利・山上 2（15−5、15−4）0 浜中・横井

（毛利・山上組は二連勝、六度目の優勝）

▼男子50歳以上ダブルス決勝

上口・中山 2（15−13、15−6）0 広野・久代

（上口・中山組は二連勝、三度目の優勝）

▼男子シングルス決勝

今泉 2（15−4、18−16）0 遠藤

（今泉は初優勝）

▼女子シングルス決勝

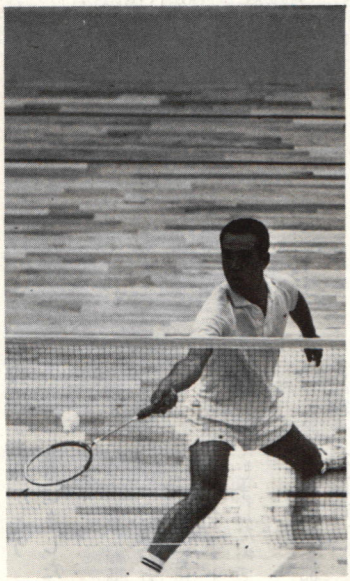
湯木 2（11−6、12−10）0 石崎

（湯木は二連勝）

▼混合ダブルス決勝

今井・池田 2（15−10、15−7）0 平井・柴山

（今井・池田組は初優勝）



社会人選手権で頑張るベテラン
金原（岩手）

■年間予約購読のおすすめ

本誌の購読は、年間予約が便利です。本誌は**一部定価二百二十円**で、一年間十二冊は二千六百四十円となりますが、予約購読をなさいますと、**二千四百円**となります。送料は当方で負担いたします。

お申し込みは、本誌はさみ込みの振替用紙に必要事項をご記入のうえ、郵便局で手続していただくか、現金書留で代金をお送りください。その際、必ず何号からの申し込みかを明記してください。

〈宛先〉〒150 東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会
バドミントン界編集部

編集室から

本誌5月号でお願いしましたラケットに関するアンケートに対し、非常に多くの愛読者の方方からご協力をいただきました。貴重な資料として編集部では集計をしておりましたが、このたびようやく結果がまとまりましたので発表いたします。

□ □

〔第二回アンケート結果〕

質問① 自分専用のラケットをもっていますか?

回答 もっている＝100%
もっていない＝0

★ラケットに関するアンケートでしたので、現在ラケットをもっていない人はご回答をはじめからくださらなかったこともあると思いますが、プレーをやる人は、とにかく必要最低限のラケットはおもちになっているようです。

質問② ラケットは何本もっていますか?

回答 1本＝5・6%
2本＝40・8%
3本＝32・3%
4本以上＝21・3%

★やはり1本だけという人は少なく、意外に4本以上という人が2割を越えています。

質問③ ラケットの重さはどのくらいですか?

回答 軽い（115g以下）＝16・4%
中ぐらい（116~125g）＝64・5%
重い（126g以上）＝19・1%

★以前にくらべてラケットの目方は軽くなっていますが、この調査でも125g以下のラケットを使っている人が、8割以上となっています。

質問④ ガットは何を使っていますか?

回答 ナイロンなどの合成ガット＝81・4%
本シープ＝18・6%

★2割近くの人が本シープを使っていることになりますが、二千円から三千円もするナチュラル・ガット（現在はイギリスのボウ・ブランド製品かフランスのVS製品が主流）をこんなに多くの人が使っているとは思えません。とくに中学生の回答者で本シープと答えている人がいますので、本シープとハイシープをとりちがえている人もかなりあるのではないかと思います。

質問⑤ ラケットはウッド製フレームですかそれともスチール製フレームですか?

回答 ウッド（木）製フレーム＝60・8%
スチール製フレーム＝27・5%
両方の種類をもっている＝11・7%

★スチール・ラケットを使っている人もかなり多くなっています。また、両方の種類を使いわけている人も多いようです。

質問⑥ 現在市販されているラケットの価格をどう思いますか?

回答 高いと思う＝76・1%
安いと思う＝1・4%
ちょうどよい＝22・5%

★予想どおり圧倒的に高いという反応が強くなっています。実際2本買えば一万円札でおつりがこない現状には愛好者の人たちはまいっているようです。しかし、「シャトルのほうがはるかに不経済で高くつく」というご意見もありましたが、ラケット、シャトルという二つの用具がこう高くては練習もままなりません。

以上のような結果でしたが、先月号でもお知らせしたようにご回答をお寄せくださった方の中から、渋谷区の浪江博子様はじめ20名の方々に、ヨネックスポーツ提供のバドミントン用ソックスをお送りいたしました。

■投稿をありがとうございました

本誌8月号「読者と編集者」欄に投稿くださった次の方々にラケットショップ元町提供の、アメリカ製リストバンドセットをお送りいたしましたのでご愛用ください。

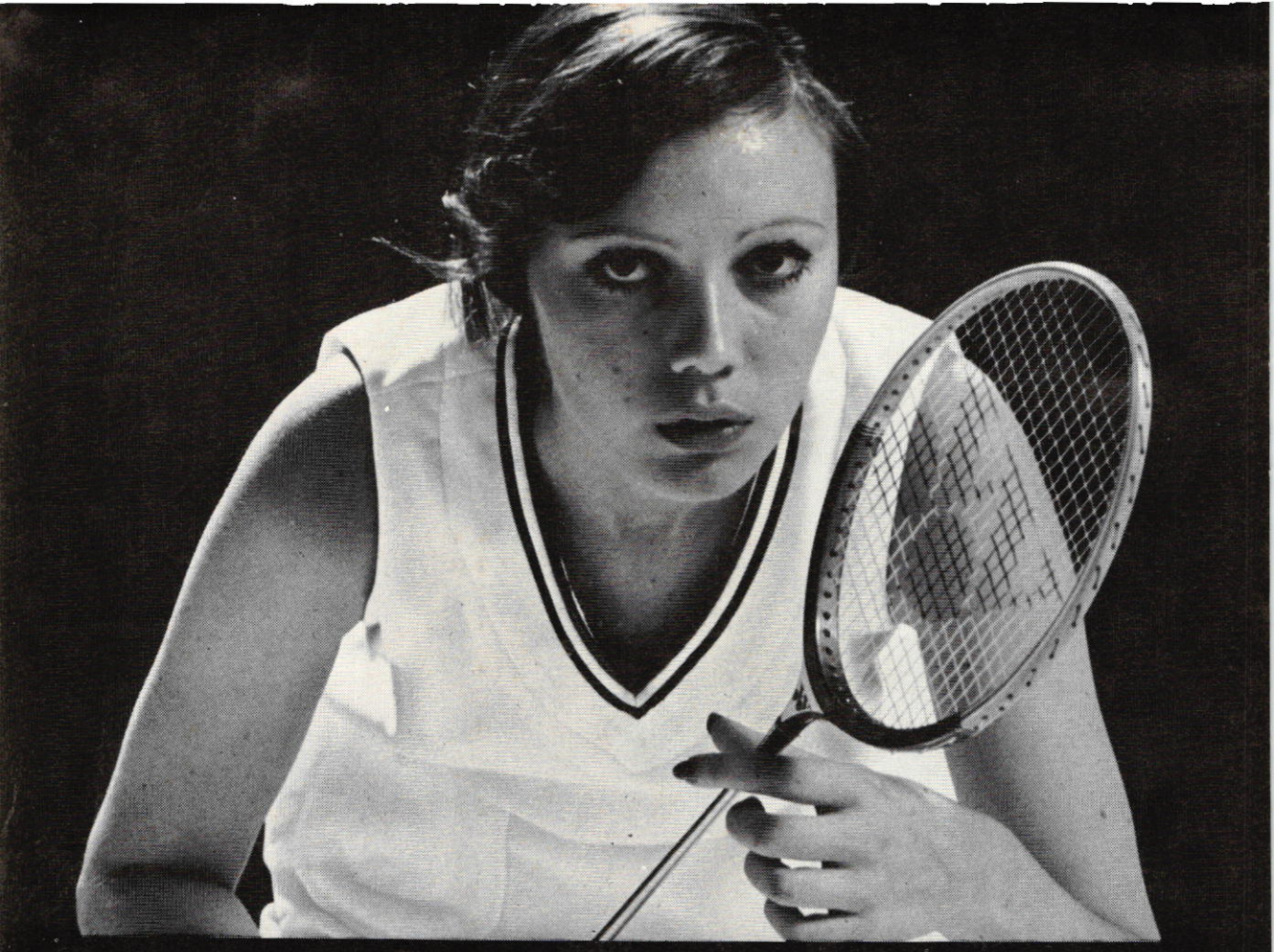
木村宝隆（三重県桑名郡）
多胡綾子（宝塚市）
関口　明（喜多方市）
増沢誠一（栃尾市）
小棹理子（保谷市）
小林健二（文京区）

（敬称略）

○…今月号はいろいろとバラエティにとんだものとしました。デンマーク選手権の際の連続写真も入れましたが、次号以降で全英選手権の際のものを掲載したいと考えています。次号では東西の学生選手権などのようすを中心にお届けするつもりです。

【バドミントン界】第60号
昭和49年9月25日　印刷
昭和49年10月1日　発行
発行所　編集兼発行人　泰　浩
東京都渋谷区神南一の一の一
岸記念体育館内
日本バドミントン協会
電話　四六七・三一一一（内線）二五一
四六七・七〇九五（直通）
郵便番号・一五〇
振替口座・東京三二一九三
印刷所　東京都豊島区南大塚二一二九
明宏印刷株式会社
定価　一部二百二十円

©無断転載を禁ず



国籍は世界。ヨネックス。

ヨネヤマが
社名変更しました。

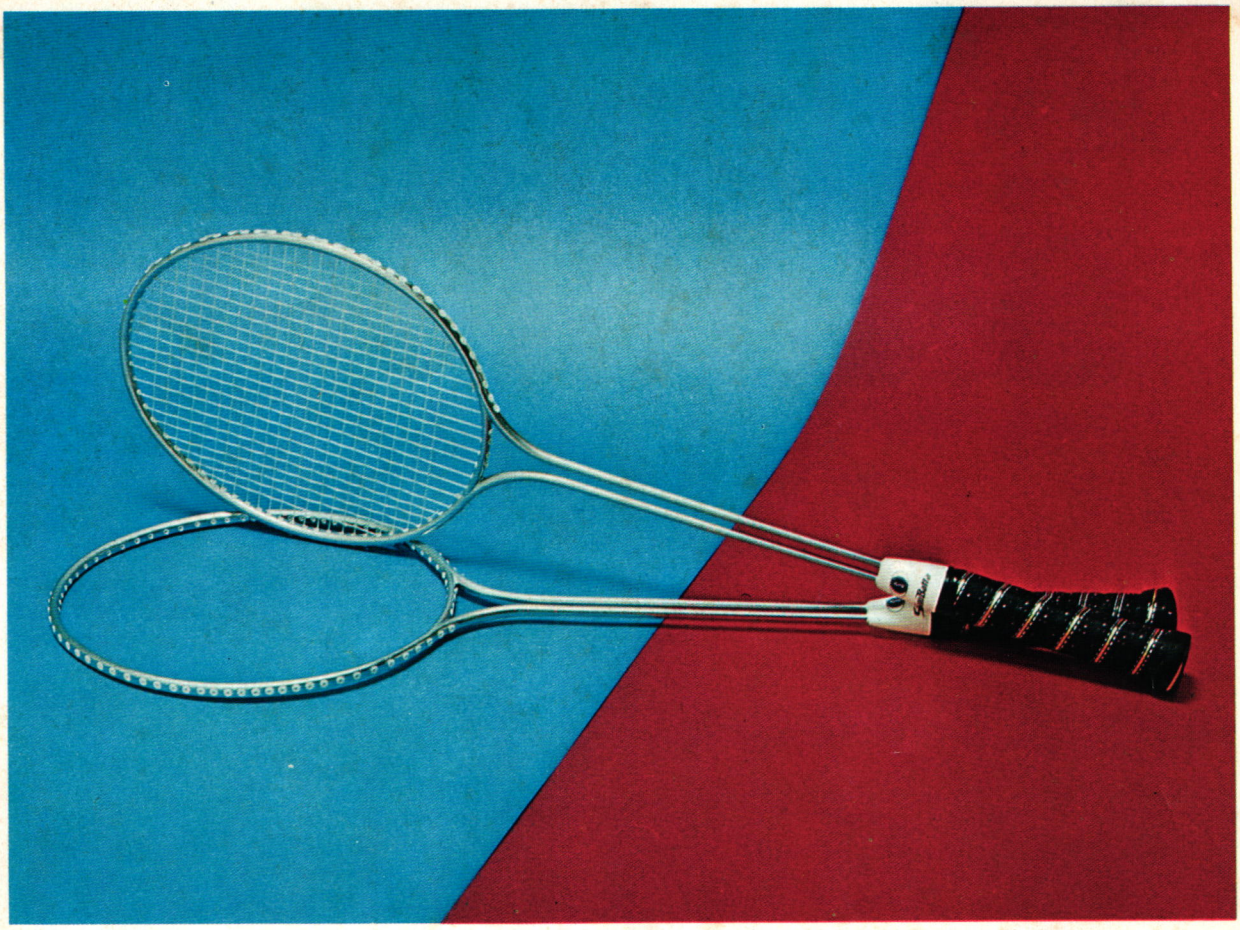
世界の一流プレイヤーに使われ、世界のコートで熱い視線を浴びてきたヨネヤマが、名前を変えました。いま、こころも新たにヨネックス。世界のレベルを決めるブランドに、ふさわしい名前です。グローバルな響きです。バドミントンを科学の目でとらえるヨネヤマの、力強い変身。ヨネックス。この5文字が、ことばの違いを越え、国籍を越えて、ひとびとの心をひとつに結びます。すでにもう、世界のひとたちはかってのヨネヤマをヨネックスと、そう呼びはじめました。さあ、あなたも。

No.9000

ハイステンレス
￥4,800(フレーム・ケース付)
￥5,400(ヨネックスシープ張上・ケース付)

YONEX

月刊「バドミントン界」第50号
昭和四十九年十月一日発行（毎月一回一日発行）
第三種郵便物認可
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会
定価二百二十円



ALL STEEL RACKET SunBatta TWIN SHAFT

究明され！
完成された！
S-74
ALL ROUND

プレーヤーが長い間求めていたオールスチールが誕生しました。
従来のオールスチールラケットの利点及び欠点をあらゆる角度から究明され改良をし今ここに完成され皆様の目の前に現われました。
ツインシャフトの採用によって、フレームとシャフトとのひねりが最小限に押えられ自由自在なショットを楽しむ事が出来るでしょう。
アタックによし、レシーブによし、それがS-74オールラウンドです。
◇フレームのみ（ケース付）￥ 5,000

SunBatta TOKYO JAPAN

サンバタ